

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION



同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

特集

君は「キリスト教主義」を知っているか?

●同志社人訪問

全日本通訳案内士連盟 理事長 松本美江さんに聞く

『ONE PURPOSE』は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。



特集

君は「キリスト教主義」を知っているか? ----- 2

SEMINAR ~ゼミ探訪 学びの時間~ ----- 7
 スポーツ健康科学部 海老根 直之ゼミ

同志社の研究は今 ----- 9
 赤ちゃん学研究センター 小西 行郎 研究開発推進機構 チェア・プロフェッサー 教授

2014年度 大学決算について ----- 11

CAMPUS NEWS ----- 13
 新島襄海外渡航記念碑前祭/オープンキャンパス 2015開催/「同志社同学校説明会 2015」を開催!/2015年度春学期外国語honors認定書授与式/2015年度プロジェクト科目 春学期成果報告会/本学留学生が祇園祭に参加/新任教員紹介/2015年度 卒業式・学位授与式/2016年度 入学式/本学教員の執筆図書紹介

同志社校友会 ----- 17
 世界に広がる「同志社ネットワーク」

留学生紹介 ----- 19
 黄 輯林さん(理工学研究科 情報工学専攻 博士課程(前期課程))

INTERVIEW ~同志社人訪問~ ----- 20
 全日本通訳案内士連盟 理事長 松本 美江さんに聞く

MY JOB, MY LIFE ~シリーズ 私と「仕事」~ ----- 23
 ・阪田 逸平さん(2004年 商学部卒業)
 ・松村 百合さん(2009年 工学部情報システムデザイン学科卒業)

ANNOUNCEMENT ----- 25

MY PURPOSE ~挑戦する人~ ----- 27
 第89回西日本学生相撲選手権大会 団体戦で11年ぶりに優勝
 ~次の目標は第93回全国学生相撲選手権大会4度目の優勝~
 ・寺本 昂平さん(社会学部教育文化学科 4年次生)



表紙の情景 [同志社京田辺会堂]

東西の2棟からなり、西側の「^{ことばかん}言館」はおよそ250名を収容できる礼拝堂、東側の「^{ひかりかん}光館」は創立者新島襄に関する資料展示室とラウンジ。一体感と開放感を生み出すために大きなガラス面に向かい合っており、通路やラウンジから礼拝堂内部がうかがえる。ガラス面のすぐ下には水がたたえられ、日が暮れると水面に明かりが反射して、美しく幻想的な雰囲気が漂う。

君は「キリスト教主義」を知っているか？

同志社の教育理念の一つである「キリスト教主義」。「良心を手腕に運用する人物の育成」という建学の精神の根幹を成すのが、キリスト教主義教育である。だが今日、同志社大学に入學してくる学生の中に、そのことはどれほど意識されているだろうか。事実、入学式と卒業式・学位授与式で礼拝を経験はするものの、4年間、聖書をひもとくことはおろか、礼拝堂に一度も足を踏み入れないまま巣立っていく学生は少なくないと言われる。京田辺校地にシンボリックな宗教施設として新しく「同志社京田辺会堂」が誕生した今、あらためて同志社大学生とキリスト教について考えてみたい。



▲ 礼拝堂
1886年竣工、日本に現存するプロテスタントのレンガ造りチャペルとしては最古の建物である



礼拝堂内部▶
定礎式で創立者新島襄は「此礼拝堂ハ我同志社ノ基礎トナリ、又々精神トナル者ナレバナリ」と演説した

石川 立
【キリスト教文化センター所長 神学部教授】

「キリスト教に触れ、祈る時を共有する場を」 キリスト教文化センター所長に聞く

日本人が開いた キリスト教の大学

—同志社大学は他のキリスト教系大学
とどう違うのでしょうか。

石川 同志社のキリスト教主義は、新島襄
というひとりの日本人の夢から始まった。
まずこの点が大きな特徴です。彼はアメリ

カのニューイングランドで、同志社精神の
礎となるキリスト教を学校でも、生活の
中でも感動をもって学びました。キリスト
教の世界に全身浸りきった彼は、日本でも
ぜひキリスト教を基盤とする教育を始め
たいと切望するようになります。他のミッ
シオンスクールと呼ばれる学校はほとん
ど、アメリカやカナダなどの宣教師団が開

いた学校で、創立者は外国人の宣教師で
す。ところが同志社の場合、新島襄は牧師
であり宣教師でもあったのですが、日本人
でした。ミッシオンスクールは本来キリス
ト教を広めることが目的のため、キリスト
教が前面に出てきます。しかし、同志社は
キリスト教主義ですが、キリスト教は基本
であり精神であって、前面に出る学びの領

域は多様であり得るのです。新島が卒業生
に期待したのも、自分らしい生き方を選ん
でほしいということでした。キリスト教に
関わる仕事に限らず、法曹界、経済界、文学
界など様々な分野で活躍しながら、その根
底にはキリスト教精神がしっかり根付いて
いることを忘れないでほしい、そういう教
育だったのです。その伝統を同志社大学は

今も継承しています。

— 同志社大学にもキャンパス内にいくつかの礼拝堂があります。その位置づけも他大学とは違うのですか。

石川 さほどの違いはありませんが、同志社大学では、今出川、京田辺のキャンパスにある礼拝堂で週に3日ずつチャペル・アワーを行い、現代人が抱える諸問題について、様々な方に奨励をいただいています。話をしてくださるのは牧師が多いのですが、キリスト教徒ではない教員や福祉関係をはじめとする多方面で活躍されている方々もいらっしやいますから、キリスト教の教えを説くための礼拝とは趣が異なります。

「共に集う場」を提供していく

— 学生の大半は4年間、ほとんどキリスト教を学ぶことなく過ごします。その中でキリスト教文化センターはどういった役割を果たすのでしょうか。

石川 入学時と卒業時には礼拝を行います。在学中も学生がキリスト教に触れる場や機会をつくるのが使命だと考えています。同志社の正課授業には、神学部やキリスト教文化センターの教員や講師がキリスト教について、あるいは建学の精神について教える科目があります。受講すればキリスト教に触れることはできるのですが、教室に座って頭で理解していくだけでは十分とはいえません。やはり礼拝などの

祈りの場に身を置き、全身でキリスト教を感じてもらいたいです。キリスト教文化センターでは、礼拝堂を中心に様々な出会いを積極的に提供していきたいと考えています。現在行っているチャペル・アワーやメデイーション・アワーも、「共に集う場」としてさらに充実していかなければなりません。「共に集う場」とは、キリスト教を教え、教えられる場ではなく、キリスト教に触れ、祈る時を共有する場のことです。集いの中で祈りを共にすることにより、キリスト教主義という理念が体得され、生活の場にも展開されていくのではないかと考えます。

— そこで新しく誕生した「同志社京田辺会堂」はどんな意味を持っているのでしょうか。



石川 同志社京田辺会堂は、ガラス張りの2つの棟で構成されています。片方は礼拝堂を擁する「言館（KOTOBAY-KAN）」、もう一方にはラウンジを持つ「光館（HIKARI-KAN）」があり、互いが見えるようになっていました。もしこれが典型的な教会風の佇まいであれば入るのに躊躇すると思うのですが、ガラス越しに礼拝堂内で何をしているのかがわかると入りやすい。礼拝堂ではチャペル・アワーに限らず、昼休みにはオルガンの演奏が流れ、近くへ行くとその音色や讃美歌が聞こえてくるような工夫もしています。こうした仕掛けで、礼拝堂が学生にとって敷居の高い特殊な場所ではなく、普段の生活の一部であるという親近感が生まれてくるのです。また、各学部には礼拝堂を積極的に活用するようお願いしています。礼拝の場にとどまらず、講演や学生の研究成果、課外活動の発表の場として用いられることで、学生の皆さんが何度も礼拝堂に足を踏み入れ、大学生生活に深く関わる場所として認知されるようになることを願っています。

創造力とより大きな視野を

— 同志社大学でキリスト教に触れることにより、何を心得て卒業してほしいと思いますか。

石川 村田学長は常々「キリスト教は世界で最も広く信仰されている宗教であり、グ



ローバルに活動していくには宗教、中でもキリスト教のことをよく理解する必要があります」と言います。私も同感ですが、キリスト教文化センターではそれに加えて、学生たちが卒業し社会の一員として生きていく上で、自分の経験以外の世界が広く存在することを知ってほしいと思っています。愛や真理など大事なことは目に見えません。自分が経験し得る目に見えるものだけではなく、それ以上の大きな世界がある。そういう視点、視野の広がりを持って、自分の人生を位置づけ、切り開いてほしいのです。また今の学生は宗教的なものに対して拒否反応を示すことが多いので、私たちはそれを取り除く工夫をしていかななくてはなりません。宗教は特別なことではなく、生きるということと深く関わる、もの見方や習慣です。ですから、キリスト教に触れ、キリスト教的なものの方、考え方を知り、より大きな視野で人生を豊かに送ってほしいと思います。

私たちはキリスト教ともにもいっしょにいる



一條 日孝 ひたか
【生命医科学部
生命科学システム学科 2年次生】

手話と点訳の両講座とも両校地で開かれている



「手話ができたら聴覚障がいの方の診察などにも役に立つだろう」と考えていました。本学に入学してからオープン・プログ

手話と点訳を学んで得た キリスト教主義教育実践の場

一條 日孝 (生命医科学部)

生命科学システム学科 2年次生

キリスト教文化センターのオープン・プログラムで、昨年は手話入門、今年は点訳入門編を受講しています。元々は医師になる夢を持っていたので、高校生の時

ラムに手話の講座があることを知り、その時の気持ちを思い出し出して応募しました。今年点訳の受講を決めたのは、障がい学生支援室のサポートスタッフに登録して活動をしていることから、手話に加えてさらに点訳ができれば、より一層理解が深まり、交流の機会を増やせるだろうと思ったからです。実際、聴覚に障がいのある学生と手話を通じて気軽にコミュニケーションがとれるようになり、うまく気持ちを伝えられるようになっていて、とてもうれしく思っています。

僕自身クリスチャンではないし、キリスト教についても深く理解しているわけではありませんが、他者の痛みに寄り添い、互いに助け合いながら生きていくことを学ぶ同志社大学のキリスト教主義教育は、自分の考え方と共通するものです。手話や点訳のプログラムを受講したことで、そうした考え方を実践する場が得られたのはありがたいことだと感じています。

今は街中で手話を使って話している人がいると、自然と目に入るようになりました。さらに上達して学外でも多くの人と気軽に話すことができれば、世界がもっと広がっていくのだろうと考えています。

アジアの学生たちとの交流が 教えてくれたキリスト教的価値観

田中 南実 (神学部 3年次生)



田中 南実 みなみ
【神学部 3年次生】

昨年8月11～15日の5日間、台湾の輔仁

大学で行われたACUCA Student Campに参加しました。この催しは、アジアのキリスト教主義の大学から学生が集まり、相互交流やプレゼンテーション、ディベートなどを通して、お互いの国の歴史やアイデンティティーを知り、キリスト教の価値観について理解を深めるといえるものです。応募したのは、同じキリスト教主義の大学で学んでいるアジア各国の学生と交流することで、彼らがキリスト教にどういう考えを持っているのか、キリスト教的考え方が日々の生活にどうつながっているのかを知りたかったからです。

価値観や考え方の違う人たちとの出会

いは、とてもいい

経験になりました。礼拝形式の違いに驚き、他の国の学生たちが祈りを大切にしてきたことがとても印象に残っています。プレゼンテーションやディスカッション

を通して感じたのは、皆が自国の歴史や伝統、アイデンティティーを大切に、個々にしっかりとキリスト教的な考えを持っていることでした。私は自分の国についての理解が浅いことを痛感し、自分のバックグラウンドを知ることが、今回のテーマだった価値観を見直すことにつながるということに気づきました。

私が宗教に対する抵抗や偏見を持たずに相手のことを理解しようという姿勢や精神が持てたのは、キリスト教主義の大学で学んでいるからこそです。社会に出たら幅広い視点で物事を見ることができると思いますし、海外の人と仕事をするのがあっても、宗教的理解があることで、彼らのことをより親身に考えられる人間でいられるだろうと考えています。



カンントリー・プレゼンテーションやカルチュラル・ナイトでは、国々の個性や情熱の違いが現れた

編集スタッフとチャペル・アワー参加者倍増計画を練る



リーペーパー「YES!!!」の編集長。昨年は、同志社京田辺クリスマス燭火讚美礼拝で行われたイエス誕生の聖劇で聖母マリア

役を務めました。活動を通じて成長したと思うのは、「どうすれば人は私に関心を持って聞いてくれるのか」ということを意識して話をするようになったことです。小さい頃から人と話をするのが得意ではなかったのですが、スタッフになってからは人前で話をする機会が増え、という話し方をすれば理解してもらえるのかを考えるようになりました。

夫も牧師です。私の前に1年間、同志社大学で勉強し、今は大阪の教会で働いています。日本では宣教するのが難しく、時間がかかります。だから、これから少しずつ日本に住んで宣教したいと思っています。



パク スギョン
〔留学生別科生〕
朴首勤



夫と小学2年生の息子とともに大阪で暮らす

キリスト教文化センターの学生スタッフになって感じる自身の成長

宮田 優菜(法学部法律学科 2年次生)

キリスト教を学問的に勉強したいという思いと、国際法を学びたいという気持ちから、両方ともできる同志社大学を選択。パンフレットでキリスト教文化センターを知り、入学してすぐに学生スタッフになりました。私が今担当しているのは、チャペル・ア

ワ一の司会や学生スタッフでつくっているフリーペーパー「YES!!!」の編集長。昨年は、同志社京田辺クリスマス燭火讚美礼拝で行われたイエス誕生の聖劇で聖母マリア

役を務めました。活動を通じて成長したと思うのは、「どうすれば人は私に関心を持って聞いてくれるのか」ということを意識して話をするようになったことです。小さい頃から人と話をするのが得意ではなかったのですが、スタッフになってからは人前で話をする機会が増え、という話し方をすれば理解してもらえるのかを考えるようになりました。

夫も牧師です。私の前に1年間、同志社大学で勉強し、今は大阪の教会で働いています。日本では宣教するのが難しく、時間がかかります。だから、これから少しずつ日本に住んで宣教したいと思っています。



宮田 優菜
〔法学部法律学科 2年次生〕

私は2010年に韓国で牧師になりました。日本で宣教することが夢だったので、同志社大学に来て日本語を勉強しています。同志社大学を選んだのは、大学が誕生するきっかけがキリスト教だったからです。また70を超える国や地域から学生が来ているということも理由です。私は宣教師ですから、広い視野を持ち、自分とは異なる考え方を理解することが大切です。だから、宣教のためにはできるだけ多くの人と会い、自分の考え方を広げることが必要だと思います。同志社大学では、望んでいた通り、様々な人と理解し合うことができています。

同志社大学で知った
新島襄のキリスト教宣教の精神
朴首勤(パク・スギョン)
(留学生別科生)

新島襄が宣教師として日本に戻り、この学校をつくったことは、同志社で授業を受けて初めて知りました。彼は学校を建て、そこでの学びを通してキリスト教の考え方を広めました。私は牧師ですが、教会だけに限らず、別の方法や場所があれば、それを使ってキリスト教を知らない人々に宣教するつもりです。教会以外の場所であれば、宗教に抵抗のある人たちも安心するので、はないかと思うのです。

6



チームの中で個性を活かす、 訓練の場としてのゼミ活動

「ラボ説明会」が「縦ゼミ」の
一体感を育む

この日、磐上館136「運動生理学実験室Ⅱ」は、数十人の学生で溢れていた。行われていたのは、海老根直之准教授のゼミ、通称「エビゼミ」の春学期恒例のイベント「ラボ説明会」。他のゼミの学生と担当教員をゲストに迎え、エビゼミの3年次生が、実験室にある様々な設備の使用方法や自分たちが普段行っている研究・実験について説明する。4つのテーマについて3人1組の班で分担してプレゼンをし、その後質疑応答。今年度は3つのゼミが説明会に参加したため、各班が1回30分のプレゼンテーションを3回行わなくてはならない。この説明会について、3年次生の1人はこう話した。

「予備知識がない人にわかりやすく説明するのがこれ程難しいとは思いませんでした。準備に時間はかかりましたが、設備の使用法について調べながら詳しく知ることができ、卒業研究へ向かっていくためのいいス

トップになります」

このラボ説明会は海老根准教授が発案し、1期生から続けられている。ゼミを横断して研究用の設備について知ること、異なるゼミの学生同士が刺激し合うことを目的としているが、同時にエビゼミにとっては3年次生と4年次生の結びつきを深めるためのものでもある。3年次生は説明会の前に、4年次生の前で一度、発表を行って講評を受ける。1年前に同様の経験をしている4年次生からのアドバイスは、本番を前に大きな力になる。終了後は3・4年次生合同の反省会。そこでは、「回数を重ねることにうまくなっていないね」思っていた以上にレベルアップしていたよ」と、4年次生から労



いの声がかげられる。

4年次生は自分の経験を3年次に伝え、3年次生は4年次生の研究をそばで見ながら学んでいく。さらにそこへ大学院生が連なり、時には卒業生までもその縦の連携に加わる。

「12月になり卒業論文の締め切りが近づくと、卒業生がお土産持参で陣中見舞いに来てくれます。自分たちが先輩にしてもらってうれしかったことを、今度は後輩にしてくれているのです。卒業生がエビゼミの仲間としてゼミ活動を応援してくれる。そんな瞬間が数多くあることが、私の財産だと思っています」と海老根准教授。学年を超え、学生と社会人の垣根を越えたこの一体感、長く縦に伸びた学びのありようこそが、エビゼミの大きな特徴だ。

ゼミは強くなるための
自分磨きの場

先生は学部生に対して、「これから部活動を始めます」と言っておスポーツ栄養学の講

海老根直之
「スポーツ健康科学部准教授」



義をスタートするのだという。そのためかエビゼミには学部はもちろん部活動にも熱心に励む学生が多い。特に今年の4年次生は7人全員がそうだ。

「エビゼミでは、ゼミ活動を自分磨きの活動だと定義しています。ゼミに出席することはもちろん重要ですが、たとえ部活の試合で欠席したとしても、試合で最高のパフォーマンスをするために何をしたらか、ゼミのテーマであるスポーツ栄養学の面から考察し、部活の中で改善できるポイントなどを見つけ、後のゼミにフィードバックできるのなら、それは間違いなくゼミ活動の一部と言えるでしょう。漠然と試合に出るのではなく、スポーツ健康科学部の学びとして試合に出て行くという意識を持ってほしい。教室外の活動と授業を一体化して認識することが本



質的な学びにつながると考えています。」

4年次生になると、就職活動でやむなく欠席をすることが多くなる。そんな時にも事前に課題を提出し、ゼミ生のメーリングリストで、欠席の理由を全員に知らせることがルールだ。この日欠席した4年次生の1人

は、「私は就活で参加できませんが、先週の様子を見ている限りではうまくいくと思うので頑張ってください」とメッセージを送ってきた。

「社会人になれば当たり前前に求められることです。そうすることで組織における振る舞い方を覚えていくこととなります。私はゼミ生を募集する時に『自分の個性を活かしてチームの中で活躍してみませんか』という文言を入れています。学生には、チームの中で自分を活かすためにはどのように周りにアプローチするべきかを考え、チームとしての枠をはみ出さないようにしながらも、自分を活かすために周りも活かすという発想を社会人になる前に身につけてほしいと思っています」と、先生は話す。

厳しいからこそ、多くの刺激を受け成長できる

学生の間では、エビゼミは厳しいと評されているらしい。基本的に志望者の多いゼミではありません。ゼミの時間も長いですし、事前学習が必要で、授業時間以外の活動も要求していますから、周囲からは大変に見えてるのでしょうか、先生は笑う。

実際にエビゼミを選んだ学生はどう思っているのだろうか。4年次生に聞いてみた。

「すごく好きという人と厳しいから



と敬遠する人がはっきり分かりますね。スポーツ健康科学部というと、スポーツばかりしていると思われるのですが、私は勉強とスポーツを両立させたい。先生の厳しいところが好きですし、社会人になって困らないよう幅広いことを教えてくださるので感謝しています」と言うのは、ライフル射撃のスポーツ推薦で入学した安井美紗貴さん。

バドミントン部で活躍する渡部克栄さんは「バドミントンと勉強をリンクさせられることが、エビゼミを選んだ理由です。運動生理学実験室にある人工環境制御室では、低酸素トレーニングを行うことが可能です。実際に高地でトレーニングをすることは難しいので、大学内で同じようなトレーニング

効果を得られることは、とても魅力的でした。結果的に自分の学び、競技力の向上につながったと思います」と、ゼミで学んだ成果を語る。

3歳からクラシックバレエを始め、高校卒業時にはプロの道へ進むか、大学で勉強するか悩んだという野口真美子さんにとって、エビゼミの選択は必然だったと言う。「スポーツ栄養学やエネルギー代謝を学びたいと思って大学に入ったので、このゼミしかないと思いました」

選んだ理由に、先生の人柄や指導法をあげたのは、体操部に所属する森川綾子さんだ。「先生は学生をひとくくりせず個人を見てくれます。私は完璧主義で、一つのことを100%やりきれないと気がすまない性格なのですが、『これは80%でいいから、こちらに20%の力を注ぎなさい』と、完璧を求めすぎず新たなことに向かうよう導いてくれます。私の性格を見抜いた上での先生の助言はさすがだと思いました」。

最後に、この日就活で授業を休んだ鈴木陸子さんが、事前に提出していたコメントを紹介しておこう。まさに、欠席しても責任ある行動と自分磨きは欠かさないというエビゼミの真骨頂が、ここにある。

「厳しいゼミだからこそ、多くの刺激を受け、自分が成長できます。誰かが頑張っている姿は必ず伝わって来て、自分も負けられないという気持ちになります」

異分野研究の融合によりヒトの始まりを ひもとく“赤ちゃん学”研究拠点

「赤ちゃん学」とは、日本発の新しい学問領域である。発達認知心理学、発達神経学、脳科学、ロボット工学、物理学、教育学、霊長類学などの融合により、人間の起点である赤ちゃんを解明しようというもの。赤ちゃんの運動・認知・言語および社会性の発達とその障がいのメカニズムの解明から、人の心の発達までを対象としている。2001年に「日本赤ちゃん学会」が発足。2008年10月に同志社大学に開設された「赤ちゃん学研究センター」では、地域との連携による環境省の「エコチル調査(子どもの健康と環境に関する全国調査)」のほか、胎児期・新生児期に関する研究データを基に異分野との融合研究が進められている。今、なぜ「赤ちゃん学」なのか。センター長の小西行郎教授に話を聞いた。

赤ちゃん学研究センター

小西 行郎

研究開発推進機構
【 チェア・プロフェッサー 教授 】



色々な研究分野から
赤ちゃんを見ることで
全体像を知る

小児科医である私の赤ちゃんに対する見方や考え方が大きく変わったのは1990年、文部科学省の在外研究員としてオランダに留学したときです。プレヒテルという発達神経学の講座を世界で初めてつくった先生に出会い、彼が当時すでに行動学だけでなく、神経科学の研究者などとともに赤ちゃんを研究する体制を整えていることに驚きました。彼のもとで学んでいくうちに、「日本で学んだ小児科学は、いったい何だったのだろう」と、全てを否定されたような気さえしました。発達とは、基本的に変化の連続です。子どもは常に変化しているわけですから、成長の途中から見てもわからない。大事にしなくてはならないのは起点、つまり胎児から見ることです。そのように考えると、医学を産婦人科と小児科に分けるわけにはいかないし、基礎と臨床の融合も必要です。そこで帰国後は、基礎医学の先生と一緒に研究を始め、毎年、研究会を開きながら他の分野の先生ともつながりをつくり、2001年に東京女子医科大学で「日本赤ちゃん学会」を創設しました。

「赤ちゃん学」で欠かせないのは、ヒトの始まりである胎児を起点にし、丁寧に観察することから発達との関係性を読み解き、学ぶこと。そしてもう一つ大事にしているこ

A 2014年7月 大阪で開催された赤ちゃん学入門講座「赤ちゃんとあそぼう」シリーズ第4回オモチャであそぼう!の風景
 B 2012年1月 京都で開催されたはいはんな赤ちゃん学入門講座「赤ちゃんは言っちゃカラ」を持つている!の風景



とは、俯瞰的に全体像を探ることです。一つひとつの要素を切り取って研究することも大事ですが、それでは物事の本質や全体像はつかめない。それらを融合して多面的な視点から総合的に捉えることが「赤ちゃん学」だと思っています。広範な分野から人が集まって赤ちゃんの様々な面を見ることで、赤ちゃんの全体像を見る、そうした「場」を設定することに大きな意味があります。

「新学術領域研究」で発達障がいに関する成果が

2008年、同志社大学の学研都市キャンパスに「赤ちゃん学研究センター」を新設しました。その後まもなく、胎児から13歳になるまでの発達・成長と環境要因の関係を明らかにする環境省の「エコチル調査」に京都大学とともに応募したところ採用され、地域と連携して調査を進めています。

私たちの研究は、赤ちゃんが協力してくれなくては何も始まりません。その点けい

はんな学研都市は日本でも有数の子どもが増えている地域で、木津川市や精華町、京田辺市は、行政が子育てに非常に熱心です。開設当初から木津川市と調査協力の協定書を交わすことができたことは、非常に幸運でした。研究センターには地元の方がスタッフとして勤務してくださり、調査に必要な赤ちゃんを上手にリクルートしてくれます。地域や調査協力者との良好な関係を構築できたのは、研究センターを支えてくれている人たちの力が大きいですね。

現在、メインのプロジェクトは「新学術領域研究(構成論的発達科学)」で、文部科学省から領域全体で5年間に総額11億円の助成を受け、胎児期からの発達原理の解明と、発達障がいの発生メカニズムの解明を命題として取り組んでいます。

これまでの研究成果で、発達障がい、なかでも自閉症については胎児期に受けた何らかの影響が関係していることがわかってきました。当センターでは、その兆候を見つけて発症を抑える「先制医療」についての研究も進めています。前述のように発達とは変化の連続です。私たちが重視しているのは、これまでのように妊婦健診などで定点観測することよりも、その間の胎児に起こる変化なのです。血圧や心拍など生理的なものを長く見ていくと、変化のパターンによって発達障がいや早期に発見できる可能性があります。さらに効果的な対処によって症状を抑えた

り軽くしたりすることもできる。今までの医療とは違う視点で捉える必要があるのです。

このプロジェクトのトップは情報工学の先生です。我々が研究したデータを基に胎児のシミュレーションを行い、その行動が健常の胎児と、やがて自閉症を発症する胎児とどう違うのかを検証することによって、発達原理を探ろうとしています。こうした研究を進める中で気になってきたことが、物理学の先生が研究している同期現象です。自然界には同期現象があり、人間にも歩調や心拍が同期する現象があるのですが、自閉症の場合、この同期現象が低下しています。医学や心理学とは距離の遠い学問と融合することで、知りたいことが見えてくる面白さがあります。

真の意味での育児を伝える講演・講習会を地域で開催

地域への研究の還元を大事にしていることも当センターの特徴のひとつ。開設当初から企業、あるいは地域の行政と協力し、お母さんや保育士さんを対象とした講演・講習会を開催しています。本来、育児は子どもが幸せかどうかを考えるべきですが、現在の育児は赤ちゃんを中心ではないところに問題があります。例えば育児書にある子どもの抱き方の指導ひとつにしても「愛情をこめて抱きなさい」と書かれています。しかし、赤ちゃんが主体の育児指導ならば抱き方のポイントを的確に示した上で「このように抱

いたら赤ちゃんが楽ですよ」と教えるべきです。そこで、講演・講習会では、赤ちゃんは何を聞き、何をみて、何を感じているのかを理解した上で子育てをしましょうと伝えています。子どもの気持ちや理解できてこそ、愛情も持てる。赤ちゃんが今の時代に非常に重要な理由は、その点だと思っています。

通常、学会と言えば専門領域の研究者が集まることが多いのですが、赤ちゃん学会は、研究者と、保育・教育さらに育児の現場の方々によって構成されています。研究のための研究とならないためにも、こうした交流が最も大切なことだと思っています。

今赤ちゃん学会は医学や心理学の枠から飛び出し、興味深い段階にきています。まだまだ面白い冒険ができそうだと思います。



2014年度大学決算は、2015年5月7日開催の大学予算委員会および大学評議会、5月23日開催の法人理事会で承認されました。

2014年度は、京田辺校地において、脳科学研究科および博士課程リーディングプログラムの拠点となり、全学共用の実験・研究スペースで構成する複合的研究施設、キリスト教主義教育を象徴する宗教教育施設を建設しました。今出川校地においては、ビジネス研究科に専門職大学院であるビジネス専攻の1コースとして設置されたグローバルMBAコースをさらに発展・充実させるべく、グローバル経営研究専攻(修士課程)を開設しました。また、建学の理念である「国際主義」をさらに推進するため、グローバル人材育成推進事業(Go Global Japan)に掲げた取り組みを遂行しました。その一環として、日本人のアイデンティティを考えることを目的に、伝統文化を継承する客員教授を迎えて「同志社大学客員教授リレー講座」を実施するなど、日本人学生と外国人留学生が交流し、共に学ぶ機会を数多く提供しました。教育および研究の基盤として運用しているインフラ系情報システムについては、定期的に内容・構成を見直しており、ICT関連技術や利用者環境の変化に対応したシステムへのリプレースを実施しました。

研究力をより一層強化するために、産官学連携や国際共同研究、研究拠点形成などに積極的に取り組んだ結果、「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に「難治性角膜疾患に対するトランスレーショナル研究の推進と国際的研究拠点の形成」、「進化適応型自動車運転システム「ドライバ・イン・ザ・ループ」研究拠点形成」が採択されました。

自然災害に対する緊急措置としては、「東日本大震災被災受験生に対する入学検定料および被災学生に対する学費減免措置」を継続するとともに、2014年度の大規模災害についても、学費支弁が困難となった在学生在を对象に減免措置を行いました。

社会との連携を重視した地域に貢献する取り組みとして、「同志社大学 京都『老舗講座』」を東京で展開するなど、同志社大学の全国的なブランド力向上に努めました。また、京田辺キャンパスにおいて、「同志社京田辺祭(クローバー祭)」をはじめとした京都府京田辺市との地域連携行事を展開しました。同志社ローム記念館プロジェクトにおいて、「木津川市イベントプロデュースプロジェクト」というテーマで、京都府木津川市をフィールドに、市内中学生や市の関係団体と連携してまちおこしイベントをプロデュースしました。

将来に向けての整備事業として、今出川校地においては、新町キャンパス(尋真館、新町別館)の耐震改修工事に引き続き取り組み、京田辺校地においてはサッカー場・アメリカンフットボール場の人工芝改修など、スポーツ施設の再整備に取り組む予定です。

上記の通り、2014年度は、従来から継続している国際化の推進とインフラ系情報システムのリプレースを中心とし、必要な財政的支援を行いました。支出面においては、教育研究に係る各事業での経常的経費の執行残などにより、予算と比較して減少となりました。一方、収入面では、入学志願者数を安定的に確保したことによる入学検定料の増加や、奨学事業宛寄付金の受入れ、寄贈による寄付金の増収、受託研究事業の採択に伴う外部資金の獲得に継続的に取り組んだことにより、予算よりも増収となっています。

以下、収支計算書に基づき主な収支の内容について説明します。

収入の部

学生生徒等納付金は321億円で、帰属収入に占める割合(学納金比率)は78%と大きな比重を占めています。

手数料は18億円で、入学検定料が主なものです。

寄付金は5億円で、教育研究施設等整備資金寄付金、奨学寄付金、寄付教育研究プロジェクトなど教育研究活動への寄付金、奨学事業への寄付金、今出川キャンパス新校舎建設資金寄付金を受入れました。

補助金は38億円で、国庫補助金が主なものです。この大部分を占めるのが私立大学等経常費補助金で、一般補助26億円、特別補助6億円を受入れています。また、教育の質的転換、地域発展、産業界・他大学等との連携、グローバル化などの改革に全学的・組織的に取り組む私立大学等に対して重点的に支援される「私立大学等改革総合支援事業」に選定されました。その他の国庫補助金では、施設設備対象の補助金として研究装置、研究設備などの採択を受け、さらにグローバル社会で活躍できる人材を育成するグローバル人材育成推進事業(Go Global Japan)、大学院教育の抜本的改革を支援する博士課程教育リーディングプログラムなどを受入れました。

資産運用収入は6億円で、各種引当資産の運用収入および預金などの受取利息・配当金、施設設備利用料収入などです。

事業収入は9億円で、企業からの受託研究費などの受託事業収入、学生寮の寮費などの補助活動収入が主なものです。

雑収入は10億円で、私立大学退職金財団からの交付金収入が主なものです。

繰出金は3億円で、法人内諸学校からの資金調達額の返済額が主なものです。

分担金は1億円で、法人業務に係る法人内諸学校の負担分です。

当期固定資産除却額は18億円で、機器備品の償却期間完了に伴う除却額などです。

当期末未払金は1億円で、固定資産取得に係る未払金額を今年度の基本金組入額の減額項目として計上しているものです。

第2号基本金取崩額は1億円で、研究装置取得に係る研究装置設備等整備資金の取崩額です。

第3号基本金取崩額は1億円で、奨学事業に係る基金の取崩額です。

特定支出準備金取崩額は9億円で、使途が特定された準備金の取崩額などです。

収入の部合計は442億円となり、寄付金、補助金、事業収入、雑収入などの増収および第3号基本金の取り崩しなどにより予算に対して15億円の増加となりました。

支出の部

人件費は203億円で、帰属収入に占める割合(人件費比率)は49%となりました。

教育研究経費は163億円で、経常的な教育研究活動に要した経費です。

管理経費は17億円で、大学の維持管理に要した経費です。

繰入金金は5億円で、法人内諸学校への資金調達による繰入額が主なものです。

施設関係支出は29億円で、既存建物の耐震改修工事や複合的研究施設、宗教教育施設の建設などによる支出です。

設備関係支出は15億円で、教育研究用機器備品、図書などの固定資産取得に係る支出です。

当期固定資産受贈額は2億円で、現物寄付金に相当する固定資産の取得額です。

借入金等返済支出は1億円で、償還計画に基づく返済

額です。

前期末未払金は1億円で、前年度に取得した固定資産に係る未払金額の支払額を今年度の基本金組入額として計上しているものです。

特定支出準備金繰入額は5億円で、使途特定寄付金および研究費などの予算繰越額を決算において繰り入れたものです。

支出の部合計は456億円で、予算に対して5億円の減少となりました。

収支差額

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた**当年度消費収支差額は15億円の支出超過**となり、寄付金や補助金収入の増加や教育研究経費の執行残などにより、予算に対して20億円減少しました。なお、累積消費収支差額としては**348億円の支出超過額**を翌年度以降に繰り越すこととなります。

借入金

借入金残高は、前年度末に対して1億円減少し、当年度末では**2億円**となりました。

自己資金の不足額

消費支出超過額は内部資金の不足額であり、借入金は外部資金への依存額です。したがって、この両方を合わせた金額が自己資金の不足額となります。

前年度末の不足額は350億円でしたが、当年度末も**350億円**となりました。

(本文中の金額については1億円未満を調整しています)

■収支計算書 (単位:千円)
2014年4月1日から2015年3月31日まで

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	32,049,310	32,129,653	△ 80,343
手数料	1,732,200	1,780,918	△ 48,718
寄付金	281,020	522,021	△ 241,001
補助金	3,492,660	3,807,444	△ 314,784
資産運用収入	498,460	553,488	△ 55,028
資産売却差額	0	10,686	△ 10,686
事業収入	673,480	926,720	△ 253,240
雑収入	838,880	989,059	△ 150,179
繰出金	342,880	331,910	10,970
分担金	109,250	109,250	0
(帰属収入合計)	(40,018,140)	(41,161,149)	(△ 1,143,009)
当期固定資産除却額	1,774,280	1,836,014	△ 61,734
借入金等収入	0	0	0
当期末未払金	68,900	118,118	△ 49,218
第2号基本金取崩額	60,000	60,000	0
第3号基本金取崩額	0	94,000	△ 94,000
(基本金過年度組入額、未組入額合計)	(1,903,180)	(2,108,132)	(△ 204,952)
特定支出準備金取崩額	729,810	898,751	△ 168,941
[収入の部合計]	[42,651,130]	[44,168,032]	[△ 1,516,902]

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	20,328,830	20,345,026	△ 16,196
教育研究経費	17,036,480	16,295,992	740,488
消耗品費他	13,012,080	12,270,868	741,212
減価償却額	4,024,400	4,025,124	△ 724
管理経費	1,725,540	1,675,270	50,270
消耗品費他	1,552,960	1,503,402	49,558
減価償却額	172,580	171,868	712
借入金等利息	4,440	4,443	△ 3
資産処分差額	23,720	86,173	△ 62,453
徴収不能引当金繰入額	136,200	128,961	7,239
徴収不能額	0	6,415	△ 6,415
繰入金	435,160	456,792	△ 21,632
予備費	120,000	0	120,000
(消費支出合計)	(39,810,370)	(38,999,072)	(811,298)
施設関係支出	3,232,260	2,917,393	314,867
設備関係支出	1,582,840	1,479,351	103,489
当期固定資産受贈額	0	153,013	△ 153,013
借入金等返済支出	143,870	143,870	0
前期末未払金	116,770	116,767	3
第2号基本金組入額	1,200,000	1,200,000	0
第3号基本金組入額	8,450	94,450	△ 86,000
第4号基本金組入額	25,100	25,100	0
(基本金要組入額、当年度組入額合計)	(6,309,290)	(6,129,944)	(179,346)
特定支出準備金繰入額	47,200	493,791	△ 446,591
[支出の部合計]	[46,166,860]	[45,622,807]	[544,053]

用語解説

● 収支計算書 ●

学校法人会計基準に基づく消費収支計算書においては基本金組入額を帰属収入から控除して表示しているため、収支の内容をよりわかりやすくするために、消費収支計算書に基本金組入計算に係る各項目をそれぞれ収入・支出の部に計上したのが「収支計算書」です。

● 基本金 ●

第1号基本金は、学校法人が、教育研究活動に供するため、自己資金により取得した固定資産の価額です。

収支計算書において第1号基本金組入額は、支出の部に取得した固定資産(施設関係支出、設備関係支出、現物寄付資産)の額を表示し、さらに過年度取得した固定資産に係る借入金等返済支出を表示しています。また、収入の部に固定資産取得に係る借入金等収入、固定資産除却による再取得価額などを表示しています。

第2号基本金は、将来取得する固定資産に充てるための資金です。

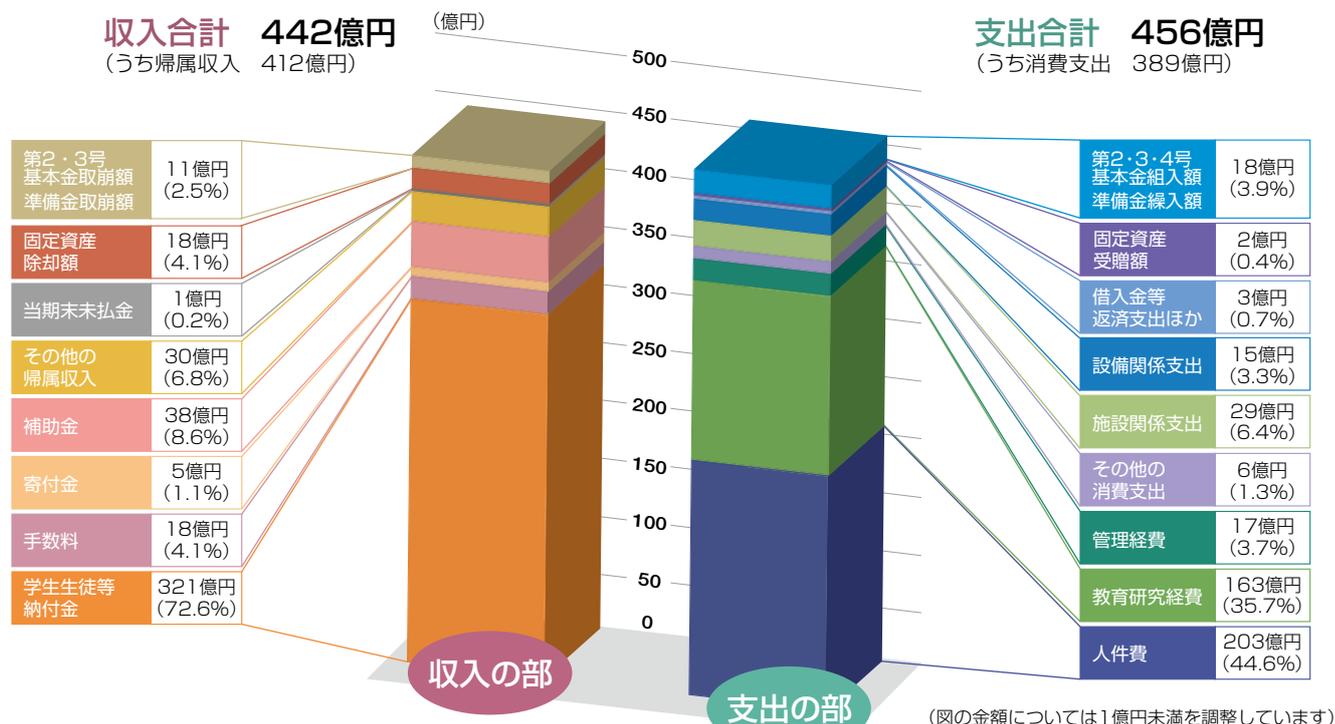
第3号基本金は、基金として継続的に保持し、その運用果実により教育研究活動の遂行を支援するための資金です。

第4号基本金は、恒常的に保持すべき資金として学校法人会計基準が定める額です。

収支差額の部			
科目	予算	決算	差異
(当年度消費収支差額)	(△ 3,515,730)	(△ 1,454,775)	(—)
消費支出準備金繰入額	0	0	—
消費支出準備金取崩額	2,413,820	1,285,341	—
[繰入取崩後当年度消費収支差額]	[△ 1,101,910]	[△ 169,434]	[—]
[前年度繰越消費収支差額]	[△ 34,654,650]	[△ 34,654,655]	[—]
[翌年度繰越消費収支差額]	[△ 35,756,560]	[△ 34,824,089]	[—]

借入金			
科目	予算	決算	差異
[前年度未借入金残高]	[△ 310,450]	[△ 310,450]	[—]
当年度借入額	0	0	—
当年度返済額	143,870	143,870	—
[当年度未借入金残高]	[△ 166,580]	[△ 166,580]	[—]

■収支構成図



新島襄海外渡航記念碑前祭

今年、同志社創立140周年にあたります。創立をさかのぼること11年前の1864年、21歳の新島七五三太は、函館から海外へと脱国しました。この密航の日に合わせて、毎年、記念式典を開催しています。式典は、約30年前から同志社校友会函館クラブが記念碑の前で行っているもので、

2010年からは、学校法人同志社が継承することになりました。今年も6月14日11時から函館市大町の「新島襄海外渡航の地」碑の前で式典を執り行いました。式典では、村田晃嗣学長が「創立者・新島襄は150年前に江戸で漢文による書物を読み、アメリカの大統領が市民の選挙によって選ばれることを知り、脳みそが頭からとろけ出るほど驚いたと伝記に書いています。幕末の身分制度の中で、才能がありながらも思い通りにならない新島は、キリスト教や西欧文明に憧れて脱国し、アメリカで学びました。150年後の今日、時代は益々大きく



変わってきていきますが、創立者の原点を忘れず、地域との交流を大切にしたいと願っています」と式辞を述べ、片岡格函館市

副市長からも「新島襄は、開港地・函館には55日間の滞在でしたが、多くの人と接し、命がけの協力を得て脱国に成功しました。今後とも函館市と同志社の絆を太く確かなものにしていきたいと考えています」とのご挨拶をいただきました。約40人の校友や函館市民の方々が参加し、新島の熱い思いに心を寄せました。

(校友同窓課)

オープンキャンパス 2015開催

7月26日京田辺キャンパス、8月2日今出川キャンパスにおいて、オープンキャンパスが開催されました。両日とも晴天に恵まれ、両キャンパスで計18,656人の来場があり、昨年より1,930人多い参加者となりました。両キャンパスとも、教員による学部学科紹介、模擬講義、一般入試の英語問題を解説する「同志社の英語を学ぼう!」、大学紹介・入試説明会、AO入試説明会、保護者説明会などを実施。個別相談ブースにもたくさん受験生や保護者が訪れ、教職員、在学生が様々な質問に答えていました。また、研究室、実験施設の紹介、独自企画イベントや図



書館見学、キャンパスツアーが行われた他、今年度初めて、学長と受験生が懇談を行う「オープン学長室」が開催される等、活気溢れる2日間となりました。



幼稚園から大学まで、同志社の全ての系列校が、年に一度、一堂に会して学校を紹介する「同志社合同学校説明会」を8月2日、室町キャンパス寒梅館で開催しました。この説明会は、主に志願者とその保護者に対して、同志社建学の精神や教育理念、教育方針、教育内容等を紹介し、同じ同志社とはいえ、各学校の強みや学校ごとに異なる特色を知っていただくことで、同志社をより深くご理解いただける機会となっております。また、多くの生徒の進学先となる同志社大学、同志社女子大学の雰囲気も知っていただけるよう、両大学のオープンキャンパス開催日

に合わせ開

「同志社合同学校説明会 2015」を開催!

今後、各学校単位での説明会は随時開催します。引き続きご参加いただくことができるよう、同志社学校説明会のサイト (<http://www.doshisha-event.info/>)でも詳細を発信しています。



催しました。

当日は、同志社らしく女子中学校・高等学校の生田香緒里先生による礼拝で始まり、その後、各学校から順番に学校説明があり、学校ごとに設けられたブースでは個別相談が行われて、志願者や保護者から、入学試験、学校生活等について、熱心な相談がありました。



2015年度春学期 外国語Honors認定書授与式

6月4日、クラーク記念館(クラーク・チャペル)にて、2015年度春学期の外国語Honors認定書授与式を挙行了しました。外国語Honors制度(外国語科目成績優秀者表彰



制度)は、高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度で、2006年度春学期から導入しています。

授与式では、神谷遊教務部長の司会のもと、村田晃嗣学長が祝辞を述べ、外国語科目成績優秀者一人ひとりに認定書と記念品を手渡しました。認定を受けたのは、神学部1人、文学部19人、社会学部2人、法学部3人、経済学部1人、商学部4人、生命医科学部1人、グローバル・コミュニケーション学部4人、グローバル地域文化学部1人の計36人、中国語7人、ハンゲル3人でした。

認定書を授与された学生は、以下の通りです。(敬称略)

■外国語 honors (英語)

- 饗庭 慶子(文学部・2011年度生)
- 野村 菜月(文学部・2012年度生)
- 沖原 千佳(文学部・2012年度生)
- 大村 一乃(文学部・2012年度生)
- 豊住 京子(文学部・2012年度生)
- 藤澤 有紀(文学部・2013年度生)
- 福島 綾音(文学部・2013年度生)

- 大箸 怜奈(文学部・2013年度生)
- 間崎 莉佳(文学部・2013年度生)
- 森本 玲奈(文学部・2013年度生)
- 杉原 菜津実(文学部・2013年度生)
- 月脚 裕太郎(文学部・2013年度生)
- 関師 美緒(社会学部・2012年度生)
- 金田 己生(法学部・2012年度生)
- 龍田 彰子(経済学部・2012年度生)
- 小川 遥(商学部・2012年度生)
- 高橋 海斗(商学部・2013年度生)
- 中西 勝之(生命医科学部・2012年度生)
- 岸本 健人(グローバル・コミュニケーション学部・2012年度生)
- 永田 良也(グローバル・コミュニケーション学部・2012年度生)
- 北村 光(グローバル地域文化学部・2013年度生)

■外国語 Honors (ドイツ語)

- 馬場 あゆみ(神学部・2012年度生)
- 酒井 真理(文学部・2011年度生)
- 小高 絢子(文学部・2012年度生)
- 津川 柚香(法学部・2012年度生)
- 萩佳奈子(商学部・2010年度生)

■外国語 honors (中国語)

- 川瀬 麻由実(文学部・2012年度生)
- 西山 沙甫(文学部・2012年度生)
- 陶山 光(文学部・2012年度生)
- 田中 かねで(社会学部・2011年度生)
- 櫻井 雄一郎(商学部・2011年度生)
- 横井 菜摘(グローバル・コミュニケーション)

- 学部・2011年度生)
- 澤井 悠哉(グローバル・コミュニケーション学部・2012年度生)

■外国語 Honors (ハンゲル)

- 渋谷 涼(文学部・2012年度生)
- 新岡 真樹子(文学部・2012年度生)
- 前田 梨紗子(法学部・2012年度生)

(今出川校地教務課)

2015年度プロジェクト科目
春学期成果報告会

7月26日、京田辺キャンパス同志社ローム記念館にて、全学共通教養教育科目「プロジェクト科目」2015年度春学期成果報告会を開催しました。ポスターセッション形式で、春学期科目2クラスが最終報告、春学期秋学期連結科目13科目が中間報告を行いました。

開講クラスごとのブースに分かれて、履修生全員が報告者となり、半年間の活動成果について、ポスターを基に発表しました。学内外の審査員をはじめ、教育機関関係者、オープンキャンパスに訪れた高校生や保護者など約250人の参加者とセッションを繰り広げました。

ポスターセッション終了後には、審査員から成果報告会の講評・総評がありました。講評では、ポスターの完成度やセッションの技術について高く評価された一方で、目的やゴール設定のあいまいさ、固定観念にとらわ

れていて学生ならではの新しい発想がみえないなどの厳しい指摘もありました。各クラスにとって、テーマ

今後の活動の見直しを行う良い機会となりました。

最後に、最優秀賞、優秀賞および特別賞の表彰が行われました。各賞は以下の通りです。

■最優秀賞

○京都在培ってきた文化産業の素材・技術のリデザインと発信

【科目担当者】北林功

○科目代表者…山田和人(文学部)

■優秀賞

○テーマパークの利用者満足度向上に関する企画立案プロジェクト

【科目担当者】松尾諭

○科目代表者…田中達也(理工学部)

■特別賞

○絵本百花(最愛の1冊に出会うプロジェクト)

【科目担当者】上野康治

○科目代表者…金田重郎(理工学部)

○地域応援プロジェクト(同志社から、スポーツの力で恩返し)

【科目担当者】高橋仁美

○科目代表者…竹田正樹(スポーツ健康科学部)

(今出川校地教務課)



本学留学生が祇園祭に参加



7月24日に祇園祭 後祭の山鉾巡行が行われ、本学の留学生3人が南観音山の曳き手として巡行に参加しました。後祭では、前祭とは逆の時計回りに巡行するため、新町通を北に進み、御池通では迫力ある辻回りに沿道から歓声が上がりました。全部で10基の山鉾が京都の街を巡行し、観覧していた方々も色とりどりに装飾された山鉾に目を奪われていました。ドイツのテュービンゲン大学との学生交換協定による留学生であるFriedsam Thomas (フリードサム・トーマス)さんは「昨年、祇園祭に参加した留学生のことを知り、今回の参加を決めました。日本の社会や文化について学んでいるので、伝統ある祇園祭に参加できてわくわくしています」と話していました。

(広報課)

●新任教員紹介

この度、新たに次の先生方をお迎えしました。
①所属(学科/専攻) ②職名 ③主な担当科目



島田 喜行
(しまだ よしゆき)
①文(哲)
②助教
③独書講読II



日和 悟
(ひわ さとる)
①生命医科 (医情報)
②助教
③情報処理工学



Wilmer Cameron Romney (ウィルマー・キャメロン・ロムニー)
①グローバル・コミュニケーション(グローバル・コミュニケーション)
②助教
③Communicative Performance 2



中野 幸男
(なかの ゆきお)
①グローバル地域文化(グローバル地域文化)
②助教
③ロシア語インテンシヴII



松本 茂
(まつもと しげる)
①ビジネス研究科(グローバル経営研究専攻)
②准教授
③Accounting



木谷 真紀子
(きたに まきこ)
①日本語・日本文化教育センター
②准教授
③日本語



高岸 雅子
(たかぎ まさこ)
①日本語・日本文化教育センター
②助教
③日本語

2015年度 卒業式・学位授与式 / 2016年度 入学式

入学式			卒業式・学位授与式(学部)(大学院) 留学生別科修了式				
場所	場所	場所	場所	場所		場所	場所
栄光館	寒梅館 ハーディーホール	京田辺校地 デイヴィス記念館	京田辺校地 デイヴィス記念館	栄光館			
4月3日(日)	4月2日(土)	4月1日(金)	3月22日(火)	3月21日(月・振替休日)		3月20日(日・祝)	
10時	16時30分	14時 12時 10時	13時 10時	15時 12時30分 10時	15時 12時30分 10時		
全研究科	国際教育インスティテュート 日本語・日本文化教育センター	生命医科学部 グローバル・コミュニケーション学部 商学部・理工学部	理工学部・理工学研究科 グローバル・コミュニケーション学部 心理学部・心理学研究科 スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科 生命医科学部・生命医科学研究科 文化情報学部・文化情報学研究科 文化情報学部・文化情報学研究科	商学部・商学研究科 心理学部・心理学研究科 生命医科学部・生命医科学研究科 文化情報学部・文化情報学研究科 文化情報学部・文化情報学研究科 アメリカ研究科 グローバル・スタディーズ研究科 司法研究科 ビジネス研究科	経済学部・経済学研究科 政策学部・総合政策科学研究科 アメリカ研究科 グローバル・スタディーズ研究科 司法研究科 ビジネス研究科	留学生別科 国際教育インスティテュート 社会学部・社会学研究科 社会学部・社会学研究科 神学部・神学研究科 文学部・文学研究科 法学部・法学研究科	学部・研究科

本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

- ソーシャルワークにおけるスピリチュアリティとは何か
木原浩信 中川吉晴 他監訳
ミネルヴァ書房 10,000円
- フィヒテ知識学の全容
田端信廣 中川明才 他著 晃洋書房
4,500円
- 日本の産業と企業
山内雄気 他著 有斐閣 2,300円
- 戦後日本思想と知識人の役割
出原政雄編 出原政雄 竹本知行 他著
法律文化社 8,500円
- イスラム戦争
内藤正典著 集英社 760円
- レクチャー国際取引法
高杉直 吉川英一郎 他著 法律文化社
3,000円
- レクチャー倒産法
金春 他著 法律文化社 3,200円
- 情報倫理
原田隆史 佐藤翔 岡部晋典 他著
技術評論社 1,200円
- ヒトラーと哲学者
三ツ木道夫 他訳 白水社 3,800円
- マクロ金融経済と信用・貨幣の創造
藤原秀夫著 東洋経済新報社 3,400円
- 民事訴訟法判例インデックス
林昭一 他著 商事法務 3,200円
- デジタルの際
岡部晋典 他著 聖学院大学出版会
2,000円
- 医療の組織イノベーション
瓜生原葉子著 中央経済社 3,400円
- 人間科学の百科事典
海老根直之 福岡義之 他著 丸善出版
20,000円

ケーススタディー国際関係私法
高杉直 他編著 林貴美 他著 有斐閣
2,400円

比較政治学のフロンティア
新川達郎 他著 ミネルヴァ書房
6,500円

組織・心理テストインテグの科学
藤本哲史 他著 白桃書房 7,400円

障害法
尾形健 他著 成文堂 2,600円

日本古典文学の方法
廣田收編 廣田收 他著 新泉社
12,600円

森浩一先生に学ぶ
松藤和人編 松藤和人 若林邦彦
浜中邦弘 他著 同志社大学考古学シリーズ
刊行会

イギリス社会政策講義
埋橋孝文 他監訳 埋橋孝文 他訳
ミネルヴァ書房 4,000円

発達心理学
松田佳尚 他著 丸善出版 2,500円

日本人からみた裁判員制度
木下麻奈子 他編著 勁草書房
4,700円

21世紀の政治と暴力
月村太郎 他著 晃洋書房 3,800円

福祉ガバナンスとソーシャルワーク
上野谷加代子 他編著 野村裕美 他著
ミネルヴァ書房 6,000円

民事手続の現代的使命
川嶋四郎 他著 有斐閣 28,000円

多様性社会の挑戦
水谷智 他著 東京大学出版会
5,400円

美少年尽くし
佐伯順子著 平凡社 1,200円

租税法と行政法の交錯
占部裕典著 慈学社出版 12,000円

労働六法 2015
土田道夫 他著 旬報社 3,500円

論点体系 判例労働法 1
土田道夫 他著 第一法規 4,800円

私は中国の指導者の通訳だった
加藤千洋訳 岩波書店 4,200円

交通犯罪対策の研究
川本哲郎著 成文堂 6,000円

パースペクティブ・シフトと
混合話法
山森良枝著 ひつじ書房 5,500円

よくわかる宗教学
勝又悦子 他著 ミネルヴァ書房
2,400円

ケネス・レクスロスの中心の
現代対抗文化
田口哲也著 国文社 2,500円

商品と社会
川満直樹編 川満直樹 他著
同文館出版 2,800円

相談援助演習
黒木保博 他著 ミネルヴァ書房
2,600円

ACIT(アクセシブタンス&コミット
メント・セラピー)ハンドブック
武藤崇編 武藤崇 他著 星和書店
3,200円

エッセンシャル金融論
植田宏文 丸茂俊彦 五百旗頭真吾著
中央経済社 2,600円

ソーシャルワーク
空閑浩人編 空閑浩人 野村裕美 他著
ミネルヴァ書房 2,500円

京都市政史 第3巻
伊多波良雄 小林文広 他著 京都市
4,000円

まちかどの記憶とその記録のために
本岡拓哉 他編著 共在の場を考へる研究会

はじめての憲法学 第3版
大島佳代子 他著 三省堂 2,600円

ケースブック労働法 第4版
土田道夫 他著 有斐閣 4,000円

社会福祉の国際比較
埋橋孝文編 埋橋孝文 他著
放送大学教育振興会 2,700円

証券市場と私たちの経済
野間敏克編 野間敏克 他著
放送大学教育振興会 2,400円

テキストブック現代司法 第6版
川嶋四郎 他著 日本評論社 2,900円

保健福祉学
黒木保博 他著 北大路書房 2,200円

入門・日本経済 第5版
野間敏克 他著 有斐閣 3,500円

ジェレミー・ベンサムの挑戦
戒能通弘 他編著 ナカニシヤ出版
5,600円

労働者像の多様化と
労働法・社会保障法
坂井岳夫 土田道夫 上田達子 他著
有斐閣 8,000円

ジェンダーにおける「承認」と「再分配」
岡野八代 他著 彩流社 2,800円

労働法理論変革への模索
土田道夫 他著 信山社 20,000円

社会保障
埋橋孝文 他編著 ミネルヴァ書房
2,500円

事例演習刑事訴訟法 第2版
古江頼隆著 有斐閣 3,200円

実験制度会計論
田口聡志著 中央経済社 3,400円

解説独占禁止法
松山隆英 他著 青林書院 5,800円

コンサイス条約集 第2版
位田隆一 他編修代表 三省堂 1,500円

Doshisha Alumni Association



朝食倶楽部



The 1st GRAND REUNION 村田 晃嗣 学長 基調講演



2014 ホームカミングデー

同志社校友会活動、同志社大学との連携

世界に広がる「同志社ネットワーク」 32万人超の卒業生が国内外で活躍 同志社校友会

同志社創立から10年後の1885年(明治18年)に「アルムニ(Alumni)会」という名前をもって発足したのが同志社校友会の始まりです。同志社小学校、同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社国際学院初等部・国際部、同志社大学の卒業生および、大学院修了生で組織されています。現在、32万人を超える卒業生が国内外で活躍し、その交流の拠点となっているのが校友会です。

同志社校友会は学生の皆さんを支援する目的で次の事業を行っています。

学生の皆さんへ〔在学中〕

- ① 同志社校友会奨学金(給付型)
- ② 学生緊急支援制度(学生セーフティネット)
同志社で学んでいる学生が、保護者の経済的理由等により学業の継続が困難になった場合に緊急支援を行う制度です
- ③ 海外留学支援事業
校友会会員(卒業生)の企業の海外拠点を中心に、学生の皆さんの海外留学や

同志社創立から10年後の1885年(明治18年)に「アルムニ(Alumni)会」という名前をもって発足したのが同志社校友会の始まりです。同志社小学校、同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社国際学院初等部・国際部、同志社大学の卒業生および、大学院修了生で組織されています。現在、32万人を超える卒業生が国内外で活躍し、その交流の拠点となっているのが校友会です。

海外インターンシップを応援する枠組みをつくらうとしています

- ④ 京田辺活性化支援
- ⑤ 同志社校友会スポーツ奨学金(給付型)
- ⑥ 同志社校友会グローバル人材育成奨学金(給付型)
- ⑦ 大学連携事業
◆ 全国から集まる下宿生や留学生に充実したキャンパスライフを送ってもらうための懇親会企画や、下宿生を中心としたコミュニケーション形成のサポート

◆ 規則正しい食生活を送れるように、毎週1回、1000円で、京都あるいは全国各地の郷土料理を学食で提供する「朝食倶楽部」の支援
など、大学と連携しながら学生の皆さんの支援事業を行っています

⑧ Uターン就職や、就職後の赴任地でのサポートのため、全国支部や地元卒業生との連携を図っています

学生の皆さんへ〔卒業後〕

卒業後に国内外へ就職が決まったら、その地域の支部にメールやホームページから問い合わせをしてください。支部のイベントに参加すると、その地域での有用な情報を諸先輩から聞くことができます。また、場合によっては適切な人脈を紹介してもらえ、可能性もあるでしょう。年1回開催される大懇親会などの校友会活動に気軽に参加してください。

● 同志社校友会基本方針 ●

同志社校友会は、同志社の発展に寄与するという目的を掲げ、支部の基盤を強化し、大学事業支援、学生支援、卒業後の社会人活動支援に軸を置いて活動を行っています。今年度からは海外支部との連携も深め、大学のグローバルな展開も支援していきます。



同志社校友会 会長
井上 礼之
昭和32年 経済学部卒業
ダイキン工業株式会社
取締役会長 兼 グローバル
グループ代表執行役員

1935年生まれ。京都府出身
同志社中学校、同志社高等学校を経て、
1957年同志社大学 経済学部卒業。
【主な社外歴】
日本経済団体連合会 常任幹事
関西経済同友会 代表幹事(平成11年～平成13年)
関西経済連合会 副会長(平成13年～現在)
(阪急阪神ホールディングス(株)、関西電力(株))
(株)大阪国際会議場、テレビ大阪(株))四社の
社外取締役 等

世界に広がる「同志社ネットワーク」

校友会および国内外支部の情報は
こちらよりご覧ください。

本部事務局

TEL : 075-251-4393

E-mail : doshisha.alumni@gmail.com
http://www.doshisha-alumni.gr.jp/index.html

【国内支部】

※ 2015年8月26日 現在

北海道支部 TEL:011-382-2188
E-mail : info@hokkaido.doshisha-alumni.org
http://hokkaido.doshisha-alumni.org

青森県支部 TEL:090-4044-7071
E-mail : info@aomori.doshisha-alumni.org
http://www.aomori.doshisha-alumni.org

岩手支部 TEL:019-662-3671
E-mail : info@iwate.doshisha-alumni.org
http://www.iwate.doshisha-alumni.org

宮城県支部 TEL:022-378-5853
E-mail : info@miyagi.doshisha-alumni.org
http://sky.geocities.jp/motorakuten/index.html

秋田県支部 TEL:018-837-3080

山形県支部 TEL:023-622-7195
E-mail : info@yamagata.doshisha-alumni.org

福島県支部 TEL:0248-25-2046
http://doshisha7.main.jp

茨城県支部 TEL:029-874-2051
E-mail : info@ibaraki.doshisha-alumni.org

栃木県支部 TEL:028-622-8844
E-mail : info@tochigi.doshisha-alumni.org
http://www.tochigi.doshisha-alumni.org

群馬県支部 TEL:0274-23-7774
E-mail : info@gunma.doshisha-alumni.org
http://www.gunma.doshisha-alumni.org

埼玉県支部 TEL:048-854-3788
E-mail : info@saitama.doshisha-alumni.org
http://www.saitama.doshisha-alumni.org

千葉県支部 TEL:047-337-0893
E-mail : info@chiba.doshisha-alumni.org
http://www.chiba.doshisha-alumni.org

東京支部 TEL:03-5579-9728
E-mail : office@doshisha-tokyo-alumni.jp
http://doshisha-tokyo-alumni.jp/

神奈川県支部 TEL:0467-70-2447
E-mail : takehisa@doshisha-u.net
http://blog.goo.ne.jp/doshisha-kanagawa/

山梨県支部 TEL:055-237-2977
E-mail : info@yamanashi.doshisha-alumni.org
http://www.yamanashi.doshisha-alumni.org

長野県支部 TEL:026-232-2347
E-mail : info@nagano.doshisha-alumni.org
http://www.nagano.doshisha-alumni.org

新潟県支部 TEL:025-247-7117
E-mail : info@niigata.doshisha-alumni.org
http://www.niigata.doshisha-alumni.org/

富山県支部 TEL:076-421-8585
E-mail : doshisha@sansindo.com
http://www.doshishatoyama.yu.to

石川県支部 TEL:076-266-0555
E-mail : info@ishikawa.doshisha-alumni.org
http://www.ishikawa.doshisha-alumni.org

福井県支部 TEL:090-8267-9493
http://www.doshisha-fukui.com/

岐阜支部 TEL:0574-28-0888
E-mail : info@gifu.doshisha-alumni.org
http://www.gifu.doshisha-alumni.org

静岡県支部 TEL:054-237-5181
E-mail : info@shizuoka.doshisha-alumni.org
http://www.shizuoka.doshisha-alumni.org

愛知支部 TEL:052-205-9800
E-mail : kamiya@f-nexus.com
http://www.doshisha-aichi.com/

三重県支部 TEL:0595-96-0909
E-mail : info@mie.doshisha-alumni.org

滋賀県支部 TEL:077-579-8601
E-mail : info@shiga.doshisha-alumni.org
http://www.shiga.doshisha-alumni.org

京都支部 TEL:075-492-2651
E-mail : info@kyoto.doshisha-alumni.org

大阪支部 TEL:06-6308-2288
E-mail : info@osaka.doshisha-alumni.org
http://www.doshisha-osaka.jp/

兵庫県支部 TEL:078-232-7100
E-mail : info@doshisha-hyogo.org
http://www.doshisha-hyogo.org/

奈良県支部 TEL:0742-27-1552
E-mail : info@nara.doshisha-alumni.org

和歌山県支部 TEL:073-432-5776
E-mail : info@wakayama.doshisha-alumni.org

鳥取県支部 TEL:0857-23-2291
E-mail : info@tottori.doshisha-alumni.org /
toribei-g-you@abeam.ocn.ne.jp
http://www.tottori.doshisha-alumni.org

島根県支部 TEL:0852-28-5898
E-mail : tewt181@ezweb.ne.jp

岡山県支部 TEL:086-233-2046
E-mail : info@okayama.doshisha-alumni.org
http://www.okayama.doshisha-alumni.org

広島県支部 TEL:082-208-4565
E-mail : info@hiroshima.doshisha-alumni.org
http://www.hiroshima.doshisha-alumni.org

山口県支部 TEL:0827-32-6765

徳島県支部 TEL:088-653-0002
E-mail : fc8j6p@bma.biglobe.ne.jp
http://www.tokushima.doshisha-alumni.org

香川県支部 TEL:087-891-9213
E-mail : info@kagawa.doshisha-alumni.org
http://www.kagawa.doshisha-alumni.org

愛媛県支部 TEL:0897-55-7151
E-mail : info@ehime.doshisha-alumni.org

高知県支部 TEL:088-884-1703
E-mail : harimaya@isis.ocn.ne.jp

福岡支部 TEL:092-632-8222
E-mail : fukuoka.doshisha@gmail.com
http://doshisha-fukuoka.com

北九州支部 TEL:093-621-3646
E-mail : info@kitakyushu.doshisha-alumni.org
http://www.kitakyushu.doshisha-alumni.org

佐賀県支部 TEL:090-1190-0864
E-mail : info@saga.doshisha-alumni.org
http://www.saga.doshisha-alumni.org

長崎県支部 TEL:095-825-1723
E-mail : info@nagasaki.doshisha-alumni.org

熊本県支部 TEL:096-243-1221
E-mail : info@kumamoto.doshisha-alumni.org
http://www.kumamoto.doshisha-alumni.org

大分県支部 TEL:097-574-7225
E-mail : info@oita.doshisha-alumni.org
http://www.oita.doshisha-alumni.org

宮崎県支部 TEL:0985-51-3067
E-mail : info@miyazaki.doshisha-alumni.org
http://www.miyazaki.doshisha-alumni.org

鹿児島県支部 TEL:099-202-0732
E-mail : info@kagoshima.doshisha-alumni.org
http://www.kagoshima.doshisha-alumni.org

沖縄県支部 TEL:098-933-9956
E-mail : info@okinawa.doshisha-alumni.org
http://www.okinawa.doshisha-alumni.org

【海外支部】

※ 2015年8月20日 現在

● **米国：ニューヨーク同志社会**
E-mail : nydoshishakajimukyoku@gmail.com
http://www.doshisha.org

● **米国中西部支部**
E-mail : info@us-midwest.doshisha-alumni.org
http://www.us-midwest.doshisha-alumni.org

● **米国西部支部**
E-mail : info@us-west.doshisha-alumni.org
http://www.us-west.doshisha-alumni.org

● **カナダ：同志社トロント会**
E-mail : doshisha.toronto@gmail.com
https://www.facebook.com/groups/519684948123907/

● **カナダ同志社バンクーバー会**
E-mail : doshishavancouver@hotmail.com
https://www.facebook.com/groups/872835306084224/

● **ブラジル：サンパウロ同志社会**
E-mail : info@sp-brasil.doshisha-alumni.org

● **韓国校友会**
住所：ソウル特別市 鐘路区 鐘路2街 9番地
ソウルYMCA 4F 408号 110-753

● **香港支部：香港クローバー会**
E-mail : doshisha_hk@yahoo.co.jp

● **北京クローバー会**
E-mail : s-yamano@nri.co.jp
http://doshisha-sh.wix.com/doshisha-sh#untitled/c1095

● **大連同志社クローバー会**
E-mail : huaqing_wang1111@yahoo.co.jp

● **同志社大学上海クローバー会**
E-mail : doshishash@gmail.com
http://doshisha-sh.wix.com/doshisha-sh

● **広州クローバー会**
E-mail : hirata@kddigz.com.cn

● **青島クローバー会**
E-mail : info@qd-china.doshisha-alumni.org
http://www.qd-china.doshisha-alumni.org

● **台湾支部**
E-mail : kaolisa888@gmail.com

● **ベトナム：同志社校友会ベトナム支部今出川倶楽部**
E-mail : info@vietnam.doshisha-alumni.org

● **フィリピン：マニラ・クローバー会**
E-mail : info@manila.doshisha-alumni.org

● **タイ：泰国同志社クローバー会**
TEL:6686-088-3291

● **マレーシア新島会**
E-mail : yasushi.ota@sumitomocorp.co.jp

● **シンガポール・クローバー会**
E-mail : umeda@barreloil.com.sg

● **インドネシア・クローバー会**
E-mail : yasuyuki.yamazaki@obayashi.ntt.net.id

● **オーストラリア・クローバークラブ シドニー支部**
E-mail : info@sydney.doshisha-alumni.org
http://www.sydney.doshisha-alumni.org

● **トルコ：イスタンブールクローバー会**
E-mail : IWAMURA_NP4012@npc.nipponpaint.co.jp

● **ドイツクローバー会**
E-mail : clovergermany@gmail.com
http://www.germany.doshisha-alumni.org

● **パリ同志社クローバー会**
E-mail : doshishaparis@gmail.com
http://www.paris.doshisha-alumni.org

● **英国：ロンドン・クローバー会**
E-mail : atsukoconsole@gmail.com

我从小就喜欢玩游戏、看动漫，任天堂的FC、Gameboy等日本游戏机以及各种有趣漫画、动画陪伴着我成长。由于受到日本文化的影响很深，我希望能有机会亲身体验日本的生活，因此大学本科时便开始学习日语。

终于在2014年，我如愿地以交换留学生的身份到同志社大学学习。因为喜欢游戏，将来想从事游戏开发的工作，我进入了社会情报学研究室，开始了人工智能的研究。同志社大学的老师和学生们都非常亲切热情，我和大家都相处得很好。其它研究室的学生时常到我的研究室来，探讨学术话题，互相学习，共同进步。我们也成为了好朋友，课余时间一起聊天，打麻将，研究之外的生活也非常充实，十分开心。校园所在的京田边市是个绿意盎然的地方，洋溢着自然的气息，有助于学习和研究。些许疲劳之时还可以去奈良公园看看可爱的鹿，让心灵得到治愈。

还有一个半月就要毕业回国了，在同志社大学这一年半的学习经历将会是我人生中非常宝贵的回忆，在这里学到的知识和积累的经验一定会在今后的工作与生活中发挥作用。回国后我也会努力工作，做一个优秀的游戏开发者。将来我还会再来日本玩的。最后，留学期间承蒙很多人的照顾，在此衷心地表示感谢！

黄 輯林

私は幼い頃から任天堂のファミコンをはじめ、ゲームボーイなどの日本製のゲーム機で遊び、様々な漫画とアニメに夢中になって育ちました。日本の文化に浸りながら成長してきたといっても過言ではありません。次第に日本に憧れ、一度日本の生活を体験してみたいと思うようになり、中国の大学に在学中から日本語を学び始めました。

そして願いがかない、2014年によく交換留学生という形で同志社大学に留学することができました。同志社大学に入学してからは、幼い頃からゲームが好きで将来はゲーム開発の道に進みたいと思っていることから、文理融合を理念としている社会情報学研究室に入り、レーシングカーシミュレーターを使って人工知能の研究を始めました。

同志社大学の先生と学生たちは皆とても親切で、すぐに仲良くなることができました。他の研究室の学生が常に私たちの研究室を訪れ、語学セッションを開いたり、他愛のない世間話をしたり、麻雀をしたり、研究だけではなく非常に充実した学生生活を楽しまれました。また、キャンパスのある京田辺は緑が多く素晴らしい場所です。自然が多くゆったりとした雰囲気の中で、勉強と研究に励むことができました。少し疲れた時には、奈良公園に鹿を見に行き、自然や動物に触れることができ、心が癒されました。

私は9月で課程を修了して帰国します。同志社で過ごしたこの一年半は、私の人生の中で最も充実した日々でした。同志社で得た知識と経験は、きっと今後の仕事や生活で役に立つと思います。その経験を活かし、帰国後はゲームの開発者として活躍したいです。そしていつかまた日本に遊びに来たいです。最後に、留学期間中お世話になった全ての方々にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ユウ シュウリン
黄 輯林

2014.4～2015.9 理工学研究科 情報工学専攻 情報工学国際コース
博士課程(前期課程)在学(中国出身)

通訳案内士は私の天職

太田●通訳案内士を目指したきっかけを教えてください。

松本●同志社大学を選んだことが大きなきっかけです。入学して京都に住み、大好きなお寺めぐりをしていたら、外国人観光客に英語で説明をしている人を初めて見かけました。とても素敵な仕事にすぐ引かれ、そのガイドさんの姿が忘れられず、いつしか自分の夢になりました。卒業して1年ほどホテルで働いた後にアメリカへ語学留学を

し、通訳案内士の試験を受けました。この仕事を始めて30年以上になりますが、まさに天職だと思っています。

太田●通訳案内士として最も苦労されるのはどんなことですか。

松本●楽天的ですから、苦勞や失敗は持ち越さない主義です。ただ、本番を迎えるまでの勉強が不十分で悔しい思いをしたことは何度かあります。自分自身が楽しく仕事をするには、準備がしっかりできていることが必要不可欠です。長く仕事を続けていると「準備しなくてももう大丈夫でしょう」と

松本美江さんに聞く

全日本通訳案内士連盟 理事長



アメリカから来日した2組の家族を案内する松本さん。観光客は笑顔で「私たちはとても素敵なガイドに案内してもらってラッキーだ」と話してくれました。

よく言われるのですが、そういうものではありません。何百回も案内したことがある場所でも、ツアー前にはもう一度勉強し直さないと落ち着きません。ツアーが始まってお客様に出会う瞬間まで、自作のノートや最新の統計資料を確認し、スマイルの練習をしています。ツアーとツアーの間にも様々なジャンルの本を読みますし、仕事の準備をするのが趣味のようなものです。本を読む時は常にペンを持っていて、「これは

今回の同志社人

松本美江さん「1973年 文学部英文学科卒業」

1951年生まれ、神奈川県出身。大学卒業後、米国コロラド大学にて言語学と英語教授法の修士号を取得。1977年に通訳案内業試験に合格後、通訳案内士として活躍。右手にユーモア、左手に統計資料を携え、現在までに世界各国数万人の外国人のガイドリングを担当。世界トップ企業の重役やVIPからの指名も多い。(協)全日本通訳案内士連盟(JFG)理事長として、通訳案内士試験合格者のための研修も担当している。改訂版英語で日本紹介ハンドブック「アルク」、「英語で話す日本の名所」(講談社バイリンガルブックス)など著書多数。

インタビュー
太田雄也さん
「経済学部2年次生」





次のツアーで話ができる」と思うと、線を引いてノートに写したり、パソコンに打ち込んだり。この仕事を続ける限り、準備を一生続けると思います。

太田●実は、僕も京都に来た外国人観光客を案内する学生の団体に所属しているのですが、ガイド後の達成感が大きくやりがいがあります。松本さんはいかがですか。

松本●達成感もありますが、より大きく感じるのは責任感ですね。お客様の時間は取り戻せませんし、私の場合はお金をいただいてガイドをするわけですから、お客様の期待以上のものが出せないといけないのです。今は誰でも簡単に情報にアクセスで

きる時代なので、例えば金閣寺を案内する時、何年に誰が建てたか等は皆さんがご存知です。調べればわかるW H E N、W H O、W H E R Eではなく、お客様が一番知りたいのはW H Yなのです。それをお話できるように準備していないとプロとは言えません。

日本の人たちとの交流の橋渡しを

太田●実際にガイドをする時に心がけておられるのはどんなことでしょうか。

松本●私はおお客様が最初に出会う日本人であり、最後にお見送りする日本人でもあります。日本や日本人に対するイメージを左

右してしまうかもしれません。自分は、思い出づくりのキーパーソンであることを常に頭に入れていきますね。また多くの外国の方が、街を歩いている一般の日本人とお話をしたいと思っていちゃいます。先日でも京都に修学旅行に来ている学生さんが、私のお客様に「インタビュースせてくれませんか」と話しかけてくれたのでお話をしていたのですが、旅の最後に「日本に来て一番楽しかったのは、学生さんたちと話をしたことだ」とおっしゃっていました。あの時のように、日本の人たちとの交流の橋渡しができるばと思っています。

太田●京都を案内するのに、僕は英語があまり得意ではないので、紙芝居をつくったり、ホワイトボードに絵を書いたりしているのですが、松本さんは何か工夫をされていますか。

松本●私もビジュアルは使いますよ。ペタランになるほど使わなくなるのですが、私は同じ人の話ばかり聞くより、グラフィや写真、動画を交えた方がいいと思うので、タブレットの中に情報を入れておいて、それをお見せします。金閣寺は、今はまばゆい光を放っています、焼ける前はどのような姿だったのか、言葉で説明するよりも写真

などの視覚的な情報の方が理解しやすいですね。日本のGNPやGDP、銀座の地価がどれだけ上がったかなども、グラフで見方が取り込みやすい。私のカンニングペーパーにもなりますから(笑)。

太田●相手を笑わせることも大事ですよ。

松本●ユーモアはすごく大事です。真面目な話をしながら、最後はジョークだったというようなことですね。例えば、東京タワー。1958年に完成した日本の戦後の復興のシンボルだと事実を説明して、なるほどと思わせておいて「でも何回か完全に壊されたんです」「そんなことあったの!」という顔をされたら、「ゴジラとモスラにね」と続けます(笑)。でも、ユーモアは難しいです。「人を見て法を説け」という言葉があるように、お客様がどれだけ知識を持っていて、何を



【INTERVIEWER】

太田 雄也さん 経済学部 2年次生

岐阜県出身。外国人に英語で京都を案内する団体「グッドサマリタンクラブ」に、1年次から所属。卒業後は帰郷し、地元の放送局での勤務を希望。



ガイドとして自分たちが日本人を代表していると再認識

ガイドの大先輩として教わるのがたくさんありました。グッドサマリタンクラブでは入部前に説明会があるのですが、新入生には「自分たちが日本人を代表している」ということを繰り返し言います。松本さんもインタビューで同じことをおっしゃったので、ガイドをする上で大切な心構えを再認識できました。お客様が京都に来られるのは、もしかしたら人生でその日しかないかもしれない。その貴重な一日を満足して終わってもらえるよう最善を尽くすということは、僕も常に肝に銘じています。ガイドをしていると、突然のプラン変更など、お客様のご要望に合わせた臨機応変な対応が求められます。それは社会に出てどのような職種を選択しても必要になることです。大学時代に対応力などを身につけ、様々なことを吸収して、将来の仕事に役立てたいと考えています。

望んでいらっしやるかを見極めながら、その方に合わせてお話しするようにしています。

信じて努力すれば
きっと夢は叶う

太田●松本さんにとって仕事とはどういうものですか。

松本●私は孔子の「これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」という言葉が好きで、ものを知っているだけの人は好きでやっている人には勝てない、好きでやっている人は楽しんでやっている人に勝てないという意味なのですが、楽しめるようになるために努力しています。歴史が好きで、人を知ることが好きで、英語が好き。好きなことを全部集めたら、通訳案内士という仕事があった

のです。最初にお話したように、もし同志社大学に通わなかったら、この仕事があることさえ知らずに他の仕事に就いていたかもしれませぬ。自分の夢だったことが仕事になっていくのですから、私は非常に幸運だと思いますね。

太田●卒業後に、京都や同志社大学の良さを感じることはありますか。

松本●京都は持っているものがすごく豊かなので、お連れするだけでお客様は喜んでくださいます。私にとっても、4年間、素晴らしい大学で学んだという思い出が京都の町のあちらこちらにあります。特に同志社大学の前を通ると、今でも胸が高鳴り、とても興奮します。私が下宿していた文房具屋さんの2階の部屋は、まだそのまま残っているんですよ。年に数回はツアーで京都を

訪れますが、私にとって京都はいつまでも特別な場所です。

太田●今の大学生に求めること、こうあってほしいと思うことはありますか。

松本●私の仕事は歴史に名前が残ることはありませんが、私が出会ったお客様の歴史、思い出には残ると思います。日本人として、京都には「見てもらいたい、知ってもらいたい」と思う財産がたくさんあります。皆さんはそんな宝の場所で学生時代を過ごすわけですから、将来、自分の国や素晴らしい文化を知ってもらうために活動する人が増えてほしいと願っています。その中から、自分の仕事として通訳案内士を選んで、私たちの後継者になってくれる人が育ってくると、なおうれしいですね。若い人たちには大きな期待をしています。京都には日本の

誇りとも言えるものがたくさんあるので、学生時代にそれを自分の目で確かめてほしい。自分が感動しないと、伝えた相手も感動してくれません。仕事について言えば、大事なのは自分が将来何になりたいかをイメージすることです。もちろんそれに向かって努力することは必要ですが、将来こういう人になると具体的に思えば、成功を引き寄せることができると感じています。私は町

で通訳案内士の人を見つけると、絶対あのようにならなるとイメージしていました。できないことはないかと強く信じていたからこそ、今こうして通訳案内士の仕事に就くことができていっているのではないかと思います。太田●きょうは、僕自身のガイドの仕事にも役に立つお話をたくさん聞かせていただきました。どうもありがとうございました。

ハウスのカレーを「世界食」に。 あえて厳しい環境に 身を投じて成長したい。

「誠意 創意 熱意」

これはハウス食品グループの社是です。

入社して12年、この言葉を胸に、ただがむしやらに走り続けてきました。入社後8年間は、営業職として福岡と鹿児島の大手下ラッグストアやスーパーを担当しました。それまで関西で生活していた私は地方で暮らした経験がなく、全てが新鮮で、今でもその頃のことを鮮やかに思い出されます。当時の一番の思い出は、営業部門の年間ナンバーワンを決める「CVS (Creative Shared Value) 営業グランプリ大会」で1位を獲得したことです。全ての営業社員が狙う名誉ある賞をいただいたことはもちろんうれしかったのですが、何より、お得意先様が私以上に喜んでくださることが忘れられません。

その後、営業という職種には非常にやりがいを感じていたのですが、その第一線にいただけでは、現状に甘んじてしまうのではないかと感じていました。次はハウス食品の営業力強化に結び付く仕事をしたいと希望していたところ、人材育成に関わる

現在の部署へ異動になりました。

今は営業社員をバックアップする部門で、主に若手の人材育成に携わっています。新人社員の指導に始まり、営業力強化のための研修の実施、前述の営業グランプリ大会の運営等、業務は多岐に渡ります。本社と営業部門との橋渡しも役割の一つです。

昨年からは、チームマネージャーを任されて、今思うのは、人の心を動かすのは何より難しいということ。コミュニケーションをとりながら、信頼関係を築く。そして、会社として個人として目指すゴールを共有する。これは、大学時代にスキューバダイビングのサークルを運営した経験が活かしているのかもしれませんが、一人ができることは限られています。大きなことを達成するためには、良い意味で他人を巻き込む必要があります。プレーヤーとして一流でありたいと思うと同時に、マネージャーとしても一流でありたいと考えています。父親の仕事の関係で、中学1年生まで海外生活を送りました。異文化の厳しい環境



阪田 逸平さん

【2004年 商学部卒業】

ハウス食品株式会社

営業本部営業企画推進部営業企画課 チームマネージャー

名刺には「スパイスマスター」「スパイスッキングアドバイザー（スパイスコーディネーター協会認定）」の肩書きも。学生時代はスキューバダイビングのサークル活動に打ち込み、夏休みには宮古島のダイバーショップに住み込むほどだったそう。「海に潜ることはもちろんですが、仲間との時間が何よりも楽しかった」と阪田さん。在学生へのアドバイスを聞くと、「在学中にこれを成し遂げたということの一つでもつくってください。自身の経験から、「一生懸命に打ち込んだことは財産になるし、それが社会人生活での支えになる」と言う。

「新島襄先生の言葉に「此世は凡て氣根仕事にて、氣根の強きものが最後の勝利を得るものなり」（「新島先生片鱗」より）」というものがあります。氣根とは強い精神力のこと。社会人12年目となった今、この言葉を噛みしめているところだ」と話す通り、自らも氣根を持って次なる世界を狙っている。

最先端の情報ネットワークに関わりたい。 自分を信じて道を選ぶ大切さ。

アメリカに本社を置くネットワーク機器の世界最大手、シスコシステムズの日本拠点で、SEとして製造業の取引先に情報ネットワークシステムを提案しています。

いつでも、どこでも、誰とでも、人と人がつながりを持ち、さらに決められた場所に行かなくても勤務できるような環境をつくるのが、私たちの目指している方向です。システムを提案する際には、お客様と会話しながら、潜在的な悩みや要望を聞き出します。そのため、SEであっても営業能力が必要です。お客様の考えのみにとどまらず、技術面を含めて、ネットワークシステムのあべき姿を想像し、提案を行います。

IT業界では、常に新しい技術を取り入れることが必要です。社内の各国からシステム開発担当者が集まる会議の場では、お客様の要望を伝えつつ、開発側に、日本の市場ではどのような機器開発が必要かをフィードバックします。各国の技術者と協力をしてより良い機器をつくりあげていくときに、グローバルなチームで仕事をしていることを実感します。

入社してから7年、同じ部署に所属していますが、担当する企業は様々です。アメリカ

の本社で開発の人たちの話を聞いて学び、そこで得た知識や経験を、各企業の事業内容に沿って組み合わせ、提案を行います。お客様に新しい技術を気に入っていただき、私が提案したシステムを採用してもらえることが、この仕事のやりがいです。

もともと、私がネットワークに関心を持ったのは、同志社女子高等学校の頃です。インターネットが生活に浸透し、場所も国も関係なく人とコミュニケーションをとれるようになったことに非常に興味を持ち、これらを支えるネットワークの世界がどのような仕組みになっているのかを知りたいと思いました。そのため、同志社大学の工学部情報システムデザイン学科に進み、その後、ネットワーク情報システム研究室を選びました。そして、4年間の大学生活を通じて、情報ネットワークはインターネットをつくっているだけでなく、車や家電製品等に搭載され、より豊かで便利な社会の実現を支えていることを知りました。

ITの技術は次々に新しい技術が投入されます。同僚や上司など人と関わって情報を得る場面も多く、人間関係は非常に重要です。その点、シスコシステムズは面接のと

きから人の温かさがあり、楽しみながら仕事ができる雰囲気がありました。これから就職をする皆さんは情報だけに惑わされず、実際に自分の肌で感じたものを信じてほしいと思います。会社の安定と、自分がその中で安定して力を発揮しているかどうかはまったく別。自分が本当にやりたいことは何かを考え、自分が体験して感じたことを信じ、道を選んでいくことが大切だと思います。

松村 百合さん

【2009年 工学部情報システムデザイン学科卒業】

シスコシステムズ合同会社

エンタープライズシステムエンジニアリング システムエンジニア

自分の能力を活かせる会社に就職して、思い描いていた通りの職種で活躍している松村さん。大学4年次には、所属していたネットワーク情報システム研究室でチームを組み、学生対抗の「情報危機管理コンテスト」に参加して最優秀賞を獲得している。このコンテストは、実際に企業のシステムエンジニアという設定で、ネットワークのトラブルやクライアントからのクレームに素早く対処し、正確に原因を解明。二度と攻撃を受けないための対応策を提案するというものだった。プライベートでは昨年5月に結婚。秋に第一子が誕生する予定だ。「子どもは2人欲しいと思っています。当社は、職場にいなくても仕事ができるシステムを販売している会社なので、在宅勤務も可能です。でも私自身は2人目を産んで落ち着いたら、お客様と直接会って話をするエンジニアに戻りたいと思っています」と、今後の人生設計を語る。

♪観に行こう聴きに行こう♪—学生団体10月の活動予定—

【学内】

- 10月6日(火) 軽音楽部 「定期コンサート」
今出川 寒梅館ハーディーホール 時間未定 無料
- 10月18日(日) ハンドベルクワイア 「創立20周年コンサート」
今出川 寒梅館ハーディーホール
18:00～19:30(17:30開場) 無料
- 10月22日(木) マジック&ジャグリングサークルHocus-Pocus
「10月ステージ」
京田辺 多目的ホール
17:00～18:00(16:30開場) 無料
- 10月24日(土) とんがりぼうし 「定例コンサート」
今出川 寒梅館ハーディーホール
13:00～17:00予定 無料
- 10月25日(日) ピアノ研究会 「京都大学・立命館大学・同志社大学
三大学合同コンサート」
今出川 寒梅館ハーディーホール
15:00～(開場14:30) 無料
- 10月28日(水) 喜劇研究会 「お笑いライブ」
今出川 寒梅館クローバーホール
13:00～14:30 無料

【学外】

- 10月17日(土) 能楽部観世会・能楽部金剛会・能楽部宝生会・
能楽部狂言会 「紅葉会」
河村能舞台 11:00～17:00(10:30開場) 無料
- 10月18日(日) 交響楽団 「同志社大学創立140周年 同志社
交響楽団創立90周年記念 第87回定期演奏会」
ザ・シンフォニーホール 14:30～(13:30開場)
S席(事前座席指定) 1,500円
A席(当日座席指定) 1,000円
学生・シニア(事前座席指定) 500円

応援に行こう!～体育会試合日程

開催日時、開催場所、対戦校等は変更されることがあります。

【アメリカンフットボール部】

関西アメリカンフットボールリーグ

- 10月3日(土) 対戦相手:大阪府立大学 会場:EXPO
16:00 FLASH FIELD
(大阪府)
- 10月17日(土) 対戦相手:大阪大学 会場:
13:30
- 11月1日(日) 会場:神戸市王子スタジアム 16:00
対戦相手:京都産業大学

【空手道部】

- 10月11日(日) 第58回全関西大学空手道選手権大会
会場:大阪商業大学 9:00
- 11月23日(月・祝) 第59回全日本大学空手道選手権大会
会場:大阪市中央体育館 9:00

【射撃部】

- 10月22日(木)～25日(日) 会場:
第62回全日本学生ライフル射撃選手権大会 能勢町国体記念
●11月13日(金)・14日(土) スポーツセンター
全関西学生ライフル射撃新人戦 (大阪府)

【水泳部】

- 10月28(水)・29日(木)
日本選手権(25m)水泳競技大会
FINAスイミングワールドカップ2015東京大会
会場:東京辰巳国際水泳場 時間未定
- 12月6日(日) 関西学生冬季公認記録会
会場:京都アクアリーナ 時間未定

【相撲部】

- 11月7日(土)・8日(日) 全国学生相撲選手権大会
会場:堺市大浜公園相撲場(大阪府) 9:00

【ソフトテニス部】

- 10月3日(土)・4日(日) 会場:同志社大学多々羅キャンパス
京都学生優勝大会 テニスコート(京都府)
- 10月10日(土)・11日(日) 9:00
京都学生新人大会
- 10月31日(土)・11月1日(日) 関西学生ソフトテニス新人大会
会場:同志社大学田辺コート(京都府) 9:00

【体操競技部】

- 11月6日(金)～8日(日) 全日本新体操選手権大会
会場:岐阜メモリアルセンター 時間未定

【トライアスロン部】

- 10月4日(日) 日本学生スプリントトライアスロン選手権大会
会場:渡良瀬遊水地特設コース(群馬県) 時間未定

【日本拳法部】

- 10月4日(日) 龍峰杯優勝大会
会場:吹田市武道館(大阪府) 10:00
- 10月25日(日) 全日本学生拳法個人選手権大会
会場:枇杷島スポーツセンター(愛知県) 12:30
- 11月22日(日) 全日本学生拳法選手権大会
会場:大阪府立体育会館 12:00

【フィギュアスケート部】

- 10月9日(金)～12日(月・祝) 近畿フィギュアスケート選手権大会
会場:滋賀県立アイスアリーナ 時間未定
- 10月24日(土)・25日(日) 西日本学生フィギュアスケート選手権大会
会場:大阪府立臨海スポーツセンター 時間未定
- 10月31日(土)～11月3日(火・祝) 西日本フィギュアスケート選手権大会
会場:日本ガイシアリーナ(愛知県) 時間未定
- 12月5日(土)・6日(日) 国民体育大会冬季大会フィギュア競技予選会
会場:滋賀県立アイスアリーナ 時間未定
- 12月24日(木)～27日(日) 全日本フィギュアスケート選手権大会
会場:真駒内セキスイハイムアイスアリーナ(北海道) 時間未定

【ラグビー部】

関西大学Aリーグ

- 10月4日(日) 第2戦 対戦相手:関西大学 会場:
12:00 宝ヶ池球技場
(京都府)
- 10月18日(日) 第3戦 対戦相手:立命館大学
- 10月25日(日) 第4戦 対戦相手:摂南大学
- 11月1日(日) 第5戦 会場:鶴見緑地球技場(大阪府) 14:00
対戦相手:京都産業大学
- 11月14日(土) 第6戦 会場:神戸ユニバー陸上競技場 14:00
対戦相手:関西学院大学
- 12月5日(土) 第7戦 会場:西京極陸上競技場(京都府) 12:00
対戦相手:天理大学

Hardience(ハーディー友の会)メンバー募集中!

同志社大学今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくために、私たちとともに催しを盛り上げていただける方を募集しております。お申し込みは、今出川校地学生支援課窓口にて、随時受付中です。

【対象】一般・他学生(本学学生・教職員は対象外とさせていただきます)

【会費】無料

【特典】寒梅館イベント情報の郵送(希望者のみ)、案内メール配信、映画招待券やコンサート入場券のプレゼント(抽選)・入場料割引、学生団体による公演・お芝居等へのご招待、寒梅館レストランでの割引 etc.

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

同志社創立140周年記念リユニオン 同志社大学ホームカミングデー2015

卒業生の皆さまを思い出のあるキャンパスにお迎えし、母校で過ごしていた
だくとともに、懐かしい友人や教員と旧交を温めながら、同志社大学の「今」
を感じていただく1日にしたいと考えております。

ホームカミングデーならびにリユニオンを下記の通り開催いたしますので、
ぜひとも足をお運びください。

【日時】11月8日(日) 10:00～16:30

【会場】今出川校地

開会式

【時間】10:00～10:45(終了後、大集合写真撮影)

【会場】栄光館(同志社女子大学構内)

学長講演、交流レセプション、野点などたくさんのプログラムをご用意しております。
詳しくはホームカミングデーHPをご覧ください。

<http://www.doshisha.ac.jp/alumni/info/homecomingday.html>

【お問い合わせ先】校友・父母課 TEL:075-251-3009

E-mail: ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp

同志社クローバー祭(同志社京田辺祭)

10月31日・11月1日の2日間、同志社クローバー祭(同志社京田辺祭)を開催し
ます。学生と地域の皆さんが広く交流し一体となって盛り上がる、活気溢れるお
祭を目指しています。期間中は、アーティストライブ(無料)・模擬店・きっずばれっ
と・アカデミック体験コーナーなどを催します。そして東日本大震災の復興支援
として、福島県の物産展なども開催します。また今年度のテーマはハロウィンで
す。ハロウィンにちなんだイベントや装飾で祭全体を盛り上げていきます。ぜひ、
京田辺キャンパスにお越しいただき、お祭りのにぎわいを感じてください。

【日程】10月31日(土)、11月1日(日)

【場所】京田辺キャンパス

【お問い合わせ先】同志社クローバー祭実行スタッフ
TEL:0774-65-7832

第140回同志社EVE

同志社創立140周年を記念して、今年も今出川校地を中心に同志社EVEを
開催します。日頃の学生生活・クラブ活動等で培ってきた技術をアピールす
る場として、学生・教職員・卒業生・地域住民の一体感を生み出す場として講
演会や演劇、演奏会等を行い、今出川キャンパス全体が生き生きとした笑顔
と活気に包まれます。

【日程】EVE期間 11月1日(日)～28日(土)

出店期間 11月26日(木)～28日(土)

【場所】今出川校地

【お問い合わせ先】第140回全学EVE実行委員会 TEL:075-251-4452



WOT(ワット) = "What's On Thursdays!"

「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映
を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員は全て無料

●10月1日(木) 映画上映《アメリカン・インディーズの青春》

16:00 『アメリカン・スリープオーバー』

(2010年/97分/監督:デヴィッド・ロバート・ミッチェル)

17:45 レクチャー:大寺真輔(映画批評)

18:45 『パロアルト・ストーリー』(2013年/100分/監督:ジア・コッポラ)

料金(1日通し券):一般 1,500円、Hardience会員・学生 1,200円

●10月9日(金) 映画上映《篠崎誠監督特集2》

17:00 『あれから』(2012年/63分)

18:10 『SHARING』第1ヴァージョン(2015年/99分)

20:00 トーク:ゲスト 篠崎誠監督、ミルクマン齊藤(映画評論家)

料金(1日通し券):一般 1,300円、Hardience会員・学生 1,000円

●10月15日(木) 映画上映 & ライブ

《Origin Of The Dreams ~渡邊琢磨×牧野貴 Live Concert》

開場 18:30 / 開演 19:00

料金(当日のみ):一般 2,500円、Hardience会員・学生 2,300円

●10月22日(木) 映画上映

『イミテーション・ゲーム~エニグマと天才数学者の秘密』

(2014年/英・米/115分/監督:モルテン・ティルドゥム)

16:00 / 18:45

料金(当日のみ/各回入替制):一般 1,300円、

Hardience会員・学生 1,000円

●10月29日(木) 映画上映

*詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

※11月以降も毎週木曜日、映画上映などの催しを予定しています。詳細は
お問い合わせください。



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアタークローバーホールでは、映
画史に残る名作の上映を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階)

【料金】本学学生・教職員は全て無料

●10月6日(火) 映画上映《EXP/2015》

開場 18:30 / 開演 19:00

上映作品『Cinéma Concret』(2015年/24分/監督:牧野貴)

アフタートーク:ゲスト 牧野貴、川崎弘二(電子音楽研究)

料金(当日のみ):1,000円均一

●10月13日(火) 映画上映《特集 戦後70年①》

17:00 『禁じられた遊び』(1952年/フランス/86分/監督:ルネ・クレマン)

18:45 『僕の村は戦場だった』

(1962年/日ソ連/94分/監督:アンドレイ・タルコフスキー)

入場無料

●10月20日(火) 映画上映《特集 戦後70年②》

17:00 『新しき土』(1937年/ドイツ・日本/106分/監督:ルネ・クレマン)

19:00 『真珠湾攻撃』(1943年/アメリカ/82分/監督:ジョン・フォード)

入場無料

●10月27日(火) 映画上映《特集 戦後70年③》

16:00 『無防備都市』

(1945年/イタリア/103分/監督:ロベルト・ロッセリーニ)

18:00 『炎628』(1985年/日ソ連/136分/監督:エテム・クリモフ)

入場無料

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

※11月以降も毎週火曜日、映画上映などの催しを予定しています。詳細は
お問い合わせください。



FLAT bふらっとプログラム

【会場】京田辺校地ハローホール 【料金】無料

●10月7日(水) アロハ フェスティバル

『kahealani・Meahula Nohealani』

●10月14日(水) 映画上映『ゴールデンタイム』

●11月18日(水) 鍵盤ハーモニカ×タップダンス×アカペラ・コラボ
コンサート

※内容・時間は決まり次第第HP等でお知らせいたしますのでご確認ください。

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7413

第89回 西日本学生相撲選手権大会 団体戦で11年ぶりに優勝

～次の目標は第93回全国学生相撲選手権大会4度目の優勝～

1906年創部の相撲部は、同志社大学でも屈指の伝統を誇る。土佐ノ海現立川親方)の山本敏生さんをはじめ、これまで6人の大相撲力士を輩出。長い歴史がある全国学生相撲選手権大会の全てに出場(3度優勝している、全国で唯一の大学でもある)。

そんな同志社大学相撲部が最後に優勝の栄冠を手にしたのは、2012年度の西日本選抜大会。それから3年間は結果が出なかったが、今年6月の西日本学生相撲選手権大会で見事に団体優勝を果たした。7校によるリーグ戦で戦ったこの大会での優勝は、実に11年ぶりのことだった。

「リーグ最終戦、最後の5人目の対戦が始まる前に、皆が我慢できずに泣いていました。僕自身、なかなか自分の相撲が取れず、監督やコーチ、OBの先輩方から「お前ならできると激励をうけてようやくいい相撲が取れるようになった大会でしたから、とてもうれしかったです」

こう話すのは、キャプテンの寺本昂平さん。西日本選権と同じ5人制の春の全国選抜大会では、ことごとく2対3で負けて予選敗退。あと1つの勝利をつかむことができなかった悔しさがバネになった。伊藤壽哉監督も選抜で負けてからは、自分の弱さを見つめ、どうしたら勝てるかを選手たちそれぞれに考えさせました。一人ひとりが一生懸命考え、練習に取り組んできた結果だと思えます」と語る。

負けた悔しさを糧に奮起したという経緯は、寺本さんが相撲を始めたきっかけと重なる。小学校1年の時、本当は野球をやっていたかったという寺本さんは、お母さんに連れられて行った道場で相撲に出合う。



寺本 昂平さん
【社会学部教育文化学科
4年次生】

「嫌でたまらなかったもので、ほとんど練習はしませんでした。その状況で地元のわんぱく相撲大会に出たのに、決勝まで進んで2位になった。でも、自分では優勝できると思っていたから悔しくて、それから本格的に練習に打ち込むようになりました」

次の年、同じ相手に雪辱を果たし、以来、5年間優勝し続けた。また中学から高校でも、地元の和歌山では無敵。高校2年生の時には近畿大会で個人優勝し、団体にも出場した。文武両道を基本にする方針が気に入って「寺本さん」同志社大学を選び、真面目でしっかりしていることをかわれて、昨年キャプテンに指名された。

9人の部員を牽引する立場になり、「最終的に後輩たちには自分より強くなってもらわないといけません。率先して番数をこなし、キャプテンがあれだけやっているのだから、と思わせるように心がけています」と言う寺本さん。この日、監督が見守る中、全員が揃う日曜日の稽古で指を負傷し、途中で申し合いの輪から外れたことを悔しがった。

監督やコーチのアドバイスを聞き、強くなるために何が必要かを自分たちで考えながら土俵に向かう選手たち。次の目標は、11月の全国学生相撲選手権での団体優勝だ。卒業後は相撲から離れる寺本さんは、この大会で燃えつきるつもりでいる。

